

90 名蔵湾

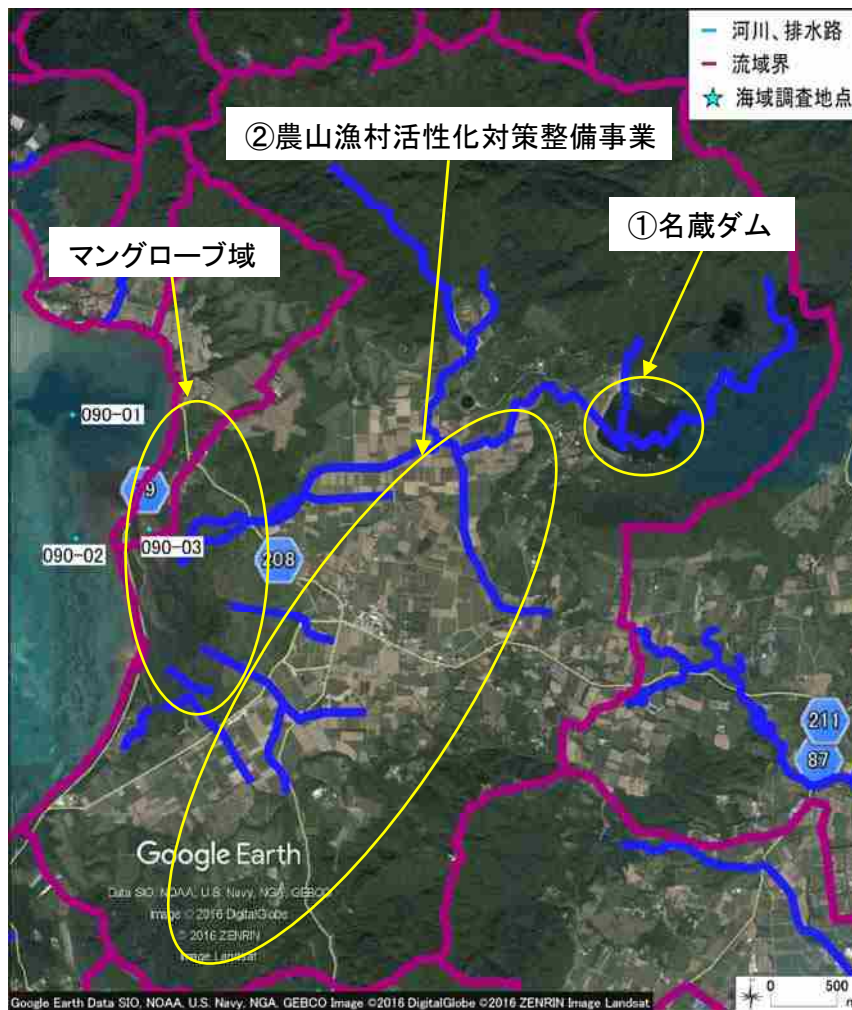
流域内状況

本流域は、石垣島西部に位置する。
河口域は、広大なマングローブ域となっており、また、上流域には名蔵ダムが立地する(①)。
流域内は、「農山漁村活性化対策整備事業」(②)により、整備されたサトウキビを主に栽培する農地が広がっている。

流域位置図



流域図



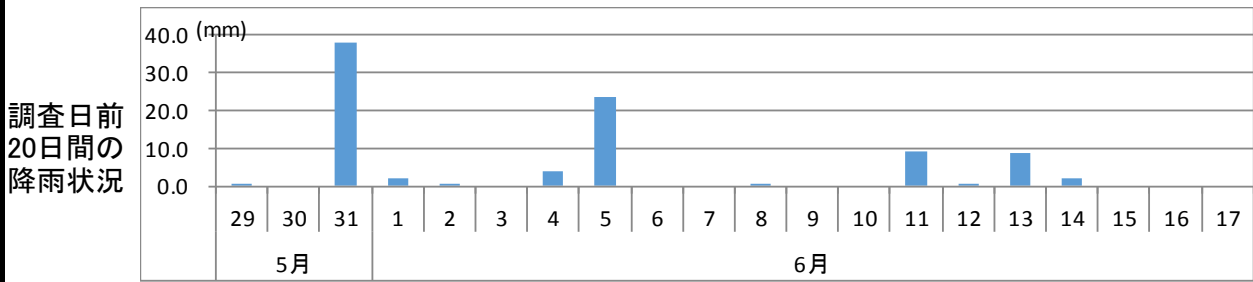
①名蔵ダム

* 衛星写真の撮影日は平成26年11月8日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

90 名蔵湾

第1回調査(令和元年6月17日実施)

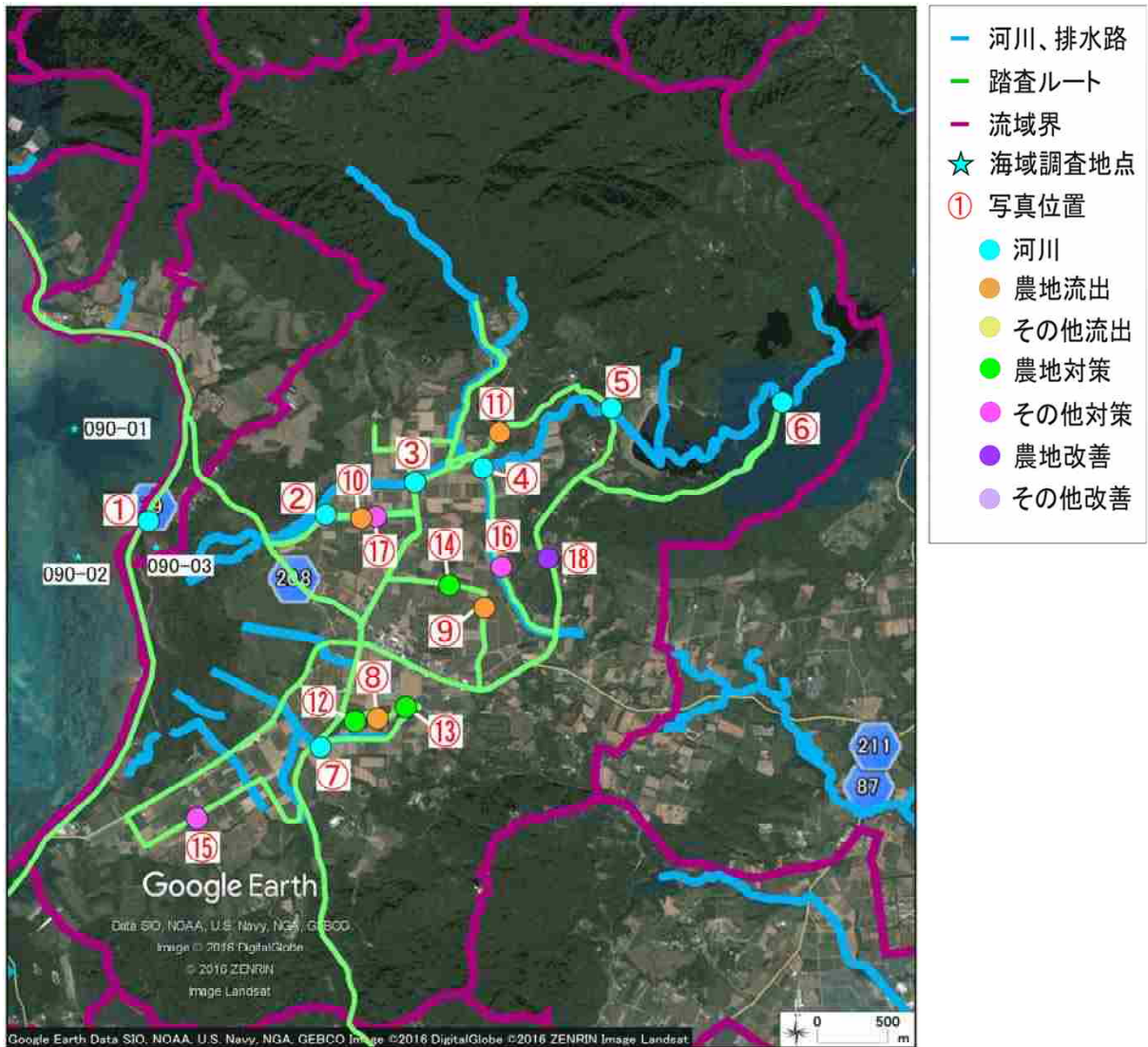
降雨状況 川平観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成26年11月8日であるため、本調査日令和元年6月17日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

90 名蔵湾 第1回調査(令和元年6月17日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川下流域において、赤土等による濁りは確認されなかった。
- ③ 河川中流域の堰において、濁りは確認されなかった。
- ④ 河川中流域において、濁りは確認されなかった。
- ⑤ 河川上流域の名蔵ダム直下において、放水が確認されたが濁りはなかった。
- ⑥ 河川上流域の名蔵ダム直上において、濁りは確認されなかった。
- ⑦ 南側河川上流域において、濁りが確認され、その濁度は6.9(度)であった。濁水の原因は周辺の水田であると考えられる。

(2)農地

- ⑦ 流域内南側において、水田から水路へ赤土等の流出が確認された。
- ⑧ 流域内南側において、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 流域内中央において、サウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑩ 流域内北側において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑪ 流域内北側において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑫ 流域内南側のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑬ 流域内中央付近の農地において、ベチパーによるグリーンベルトが確認された。
- ⑭ 流域内中央のサウキビ畑において、石積みによる赤土等の流出防止対策が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑮ 流域内南西側において、集水桝が確認された。桝内には濁水が滞留していたが、特に赤土等の流出はなかった。
- ⑯ 南側支川中流域において、集水桝が確認され、濁りは確認されなかった。しかし、集水桝に続く水路には隣接したサウキビ畑から流出した赤土等が堆積しており、強い降雨時には大量の土砂が集水桝に流れ込むことが予想される。
- ⑰ 流域内中央において、集水桝が確認された。

過年度確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑧,⑨, 昨年度と比べ変化はなく、サウキビ畑等の農地から道路や水路へ赤土等の流出痕が確認され
- ⑩,⑪ た。
- ⑱ 昨年度に赤土等の流出が確認された農場において、今回流出は確認されなかった。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑬ 昨年度と比べ変化はなく、農地にベチパーによるグリーンベルトが施されていた。
- ⑭ 昨年度と比べ変化はなく、サウキビ畑に石積みによる赤土等の流出防止対策が施されていた。

90 名蔵湾 第1回調査(令和元年6月17日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川下流域の状況 (濁りなし)
		
② 河川下流域の状況 (濁りなし)	③ 河川中流域、堰の状況 (濁りなし)	③ 河川中流域、堰の状況 (濁りなし)
		
④ 河川中流域の状況 (濁りなし)	⑤ 名蔵ダム直下の状況 (放水有り、濁りなし)	⑤ 名蔵ダム直下の状況 (放水有り、濁りなし)
		
⑥ 名蔵ダム上流域の状況 (濁りなし)	⑥ 名蔵ダム上流域の状況 (濁りなし)	⑦ 南側河川上流域の状況 (濁り有り)
		
⑦ 採水の状況 (濁度6.9(度))	⑦ 南側河川上流域の状況 (濁り有り)	⑧ パイナップル畑から道路へ 赤土等の流出痕状況

90 名蔵湾 第1回調査(令和元年6月17日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑧ 昨年度の状況	⑨ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑨ 昨年度の状況
		
⑩ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑩ 昨年度の状況	⑪ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況
		
⑪ 昨年度の状況	⑫ マルチングによる赤土等の流出防止対策	⑬ ベチバーによるグリーンベルトの状況
		
⑬ 昨年度の状況	⑭ 石積みによる赤土等の流出防止対策	⑭ 昨年度の状況
		
⑮ 集水枡の状況 (枡内に濁水が滞留、流出なし)	⑯ 集水枡の状況	⑯ 集水枡周辺の状況

90 名蔵湾 第1回調査(令和元年6月17日実施)

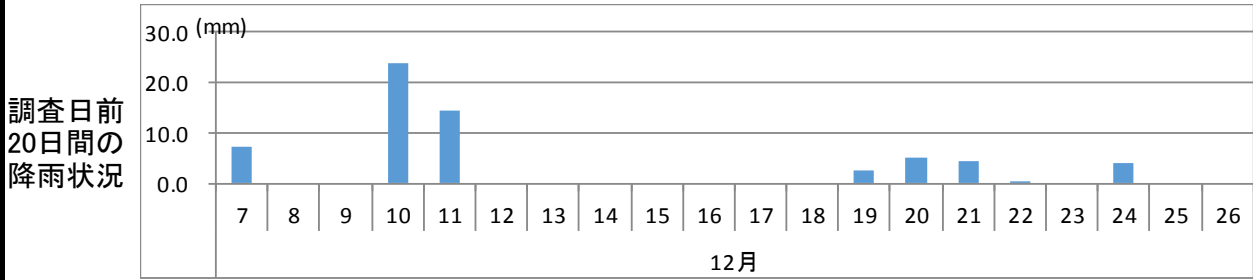
調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
<p>⑰ 集水柵の状況</p>	<p>⑰ 集水柵の状況</p>	<p>⑱ 農場の状況 (流出なし)</p>
		
<p>⑱ 昨年度の状況</p>		

90 名蔵湾

第2回調査(令和元年12月26日実施)

降雨状況 川平観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成26年11月8日であるため、本調査日令和元年12月26日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

90 名蔵湾 第2回調査(令和元年12月26日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川下流域において、濁りは確認されなかった。
- ③ 河川中流域の堰において、濁りは確認されなかった。
- ④ 河川中流域において、濁りは確認されなかった。
- ⑤ 河川上流域の名蔵ダム直下において、放水が確認されたが濁りはなかった。
- ⑥ 河川上流域の名蔵ダム直上において、濁りは確認されなかった。
- ⑦ 南側河川上流域において、濁りは確認されなかった。

(2)農地

- ⑧ 流域内南側において、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 流域内中央において、サウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑩ 流域内北側において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑪ 流域内北側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑫ 流域内北側において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑬ 流域内南側のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑭ 流域内中央付近の農地において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。
- ⑮ 流域内中央のサウキビ畑において、石積みによる赤土等の流出防止対策が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑯ 流域内南西側において、集水柵が確認された。柵内には濁りが確認されたが、接続する水路に濁りは無かった。
- ⑰ 南側支川中流域において、集水柵が確認され、濁りは確認されなかった。しかし、集水柵に続く水路には隣接したサウキビ畑から流出した赤土等が堆積しており、強い降雨時には大量の土砂が集水柵に流れ込むことが予想される。
- ⑱ 流域内中央において、集水柵が確認された。調査時には水田からの流れ込みは無かったが、柵内には若干の土砂の堆積が確認された。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑧,⑨, 前回と比べ変化はなく、サウキビ畑等の農地から道路や水路へ赤土等の流出痕が確認され⑩,⑫ た。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑬ 前回と比べ変化はなく、農地にベチバーによるグリーンベルトが施されていた。
- ⑭ 前回と比べ変化はなく、サウキビ畑に石積みによる赤土等の流出防止対策が施されていた。
- ⑰ 前回と比べ変化はなく、集水柵内には土砂が堆積している状態が継続していた。






90 名蔵湾 第2回調査(令和元年12月26日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川下流域の状況 (濁りなし)
		
② 河川下流域の状況 (濁りなし)	③ 河川中流域、堰の状況 (濁りなし)	④ 河川中流域の状況 (濁りなし)
		
⑤ 名蔵ダム直下の状況 (放水有り、濁りなし)	⑥ 名蔵ダム上流域の状況 (濁りなし)	⑥ 名蔵ダム上流域の状況 (濁りなし)
		
⑦ 南側河川上流域の状況 (濁りなし)	⑦ 南側河川上流域の状況 (濁りなし)	⑧ パイナップル畑から道路へ 赤土等の流出痕状況
		
⑧ 前回の状況	⑨ サトウキビ畑から道路へ赤 土等の若干の流出痕状況	⑨ 前回の状況


90 名蔵湾 第2回調査(令和元年12月26日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑩ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑩ 前回の状況	⑪ 農地から道路へ赤土等の流出痕状況
		
⑫ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑫ 前回の状況	⑬ マルチングによる赤土等流出防止対策
		
⑭ ベチバーによるグリーンベルトの状況	⑭ 前回の状況	⑮ 石積みによる赤土等の流出防止対策
		
⑮ 前回の状況	⑯ 集水樹の状況(若干の濁り)	⑰ 集水樹の状況
		
⑰ 集水樹周辺の排水路の状況	⑰ 前回の状況	⑱ 集水樹の状況

90 名蔵湾 第2回調査(令和元年12月26日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
<p>⑱ 集水桝の状況</p>		

95 白保

流域内状況

本流域は、轟川の流域を主とする流域であり、石垣島の石垣市白保に位置する。

流域内では、サトウキビ畑を主とする農地が広がっており、農地を対象とした県営水質保全対策事業(耕土流出防止型)等の対象となっており(①)、近年、沈砂池や排水路等の整備が活発に行われている。また、沖縄の自然環境保全に配慮した農業活性化事業等によってグリーンベルトの設置等も行われている。

流域位置図



流域図



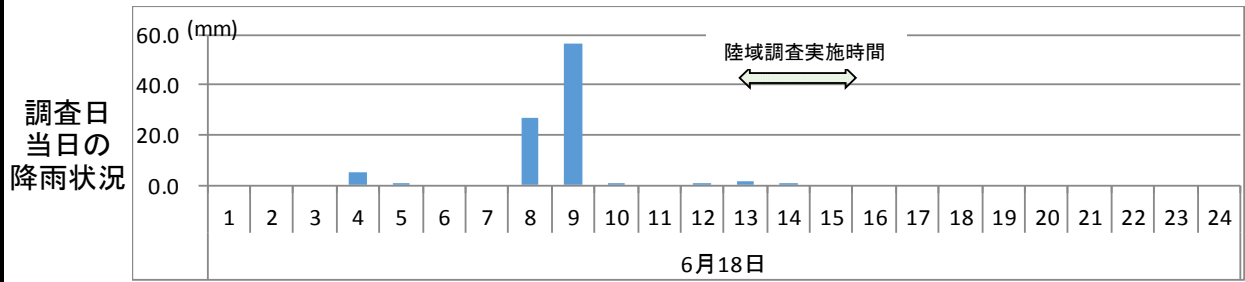
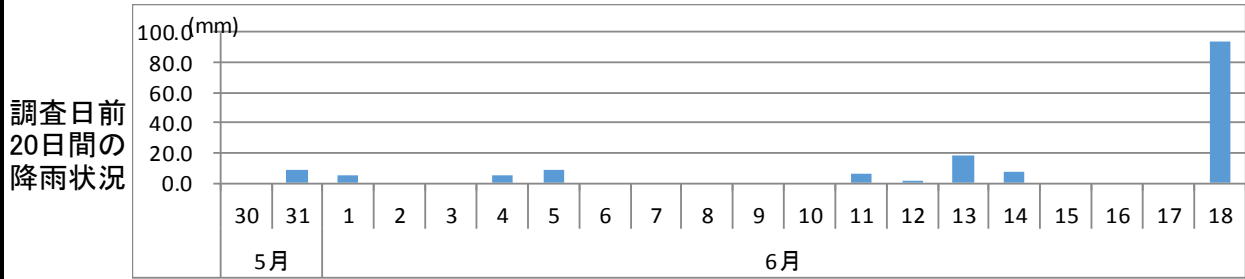
①水質保全対策事業看板

* 衛星写真の撮影日は 令和元年7月16日 であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

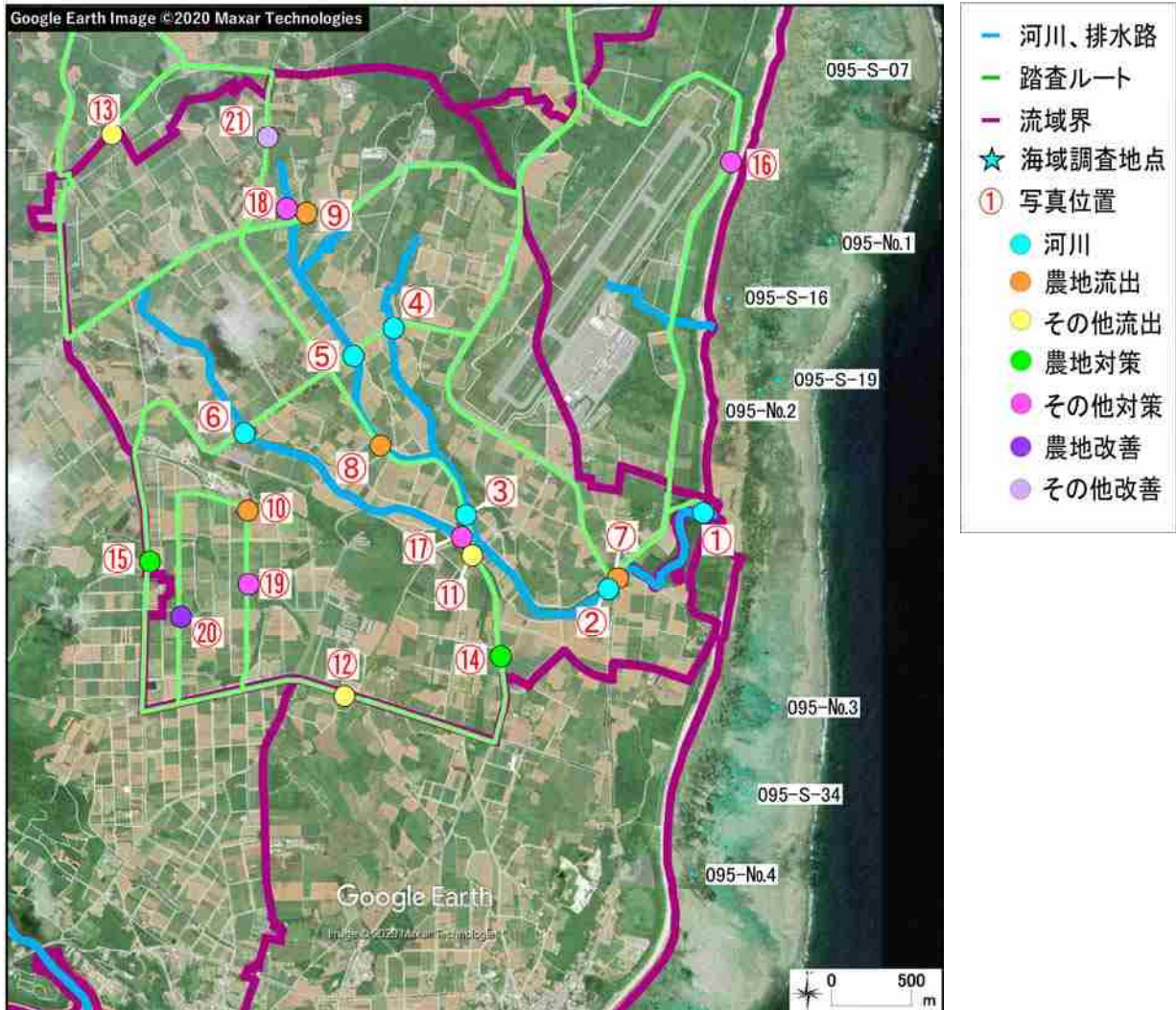
95 白保

第1回調査(令和元年6月18日実施)

降雨状況 盛山観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、令和元年7月16日であるため、本調査日令和元年6月18日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

95 白保 第1回調査(令和元年6月18日実施)

調査日は、調査前までに94mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りが確認され、濁度は10.1(度)であった。地点①～⑥の状況から、濁りの原因は特定の流出源ではなく、周辺の農地から少しずつ流出したものと考えられる。
- ② 河川下流域において、濁りが確認され、濁度は34.8(度)であった。
- ③ 東側支川下流域において、濁りが確認され、濁度は12.4(度)であった。
- ④ 北側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は6.1(度)であった。
- ⑤ 北西側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は7.1(度)であった。
- ⑥ 西側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は4.1(度)であった。

(2)農地

- ⑦ 流域内東側において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
- ⑧ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
- ⑨ 流域内北側において、農地から道路や側溝へ赤土等の流出が確認された。また、道路や側溝には赤土等の堆積も確認された。
- ⑩ 流域内西側において、サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出が確認された。その直下に水路があり、雨水が流れていた。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 東側河川下流域において、「下田原大橋橋梁整備工事(上部工2期)」が確認された。規模は1,965㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。橋桁の下に一部濁水が滞留するが、外部とつながっておらず、流出の可能性は低いと考えられる。
- ⑫ 流域内南側において、「石垣空港線道路改良事業(残土等集積地)」が確認された。規模は40×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。
- ⑬ 流域内北西側において、「石垣島農業水利事業 二又送水路他大里農道工区(その1)建設工事」が確認された。規模は30×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。工事現場ではビニルシートや土のう、砂利の布設等による赤土等の流出防止対策が施されていた。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑭ 流域内南側のサトウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑮ 流域内西側のパイナップル畑において、ゲットウによるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑯ 流域内東側において浸透池が確認された。濁水が滞留していたがオーバーフローはなかった。
- ⑰ 北側支川と西側支川の合流地点において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、濁度は71.4(度)であった。
- ⑱ 流域内北側において、沈砂池が確認された。濁りが確認されたが、排水口は見えなかったため排水状況は不明であった。
- ⑲ 流域内西側において、農地内集水枡が確認された。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑦,⑧,⑨,⑩ 昨年度と比べ変化はなく、サトウキビ畑や農地から赤土等が流出していた。
- ⑳ 昨年度と比べ、サトウキビ畑には草本が茂り、裸地が減少しており、今回赤土等の流出は確認されなかった。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 昨年度と比べ、年度による工事名と範囲の変更があったものの、橋梁整備工事自体は継続して行われていた。
- ⑫ 昨年度と比べ、残土の量は減少していたが、引き続き工事は継続しているようであった。
- ㉑ 昨年度と比べ、水路接続他工事は完了し、現在は農地となっていた。なお、農地にはゲットウによるグリーンベルトで赤土等流出防止対策が施されていた。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑭ 昨年度と比べ変化はなく、勾配修正が施されていた。
- ⑮ 昨年度と比べ変化はなく、ゲットウによるグリーンベルトが施されていた。

95 白保 第1回調査(令和元年6月18日実施)

調査日は、調査前までに94mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁り有り)	① 採水の状況 (濁度10.1(度))	② 下流域の状況 (濁り有り)
		
② 採水の状況 (濁度34.8(度))	③ 東側支川下流域の状況 (濁り有り)	③ 採水の状況 (濁度12.4(度))
		
④ 北側支川中流域の状況 (濁り有り)	④ 採水の状況 (濁度6.1(度))	⑤ 北西側支川中流域の状況 (濁り有り)
		
⑤ 採水の状況 (濁度7.1(度))	⑥ 西側支川中流域の状況 (濁り有り)	⑥ 採水の状況 (濁度4.1(度))
		
⑦ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出状況	⑦ 昨年度の状況	⑧ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出状況

95 白保 第1回調査(令和元年6月18日実施)

調査日は、調査前までに94mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

		
<p>⑧ 昨年度の状況</p>	<p>⑨ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出状況</p>	<p>⑨ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出状況</p>
		
<p>⑨ 昨年度の状況</p>	<p>⑩ サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出状況</p>	<p>⑩ 昨年度の状況</p>
		
<p>⑪ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑪ 工事現場の状況</p>	<p>⑪ 昨年度の状況</p>
		
<p>⑫ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑫ 工事現場の状況</p>	<p>⑫ 昨年度の状況</p>
		
<p>⑬ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑬ 工事現場の状況</p>	<p>⑭ 勾配修正による赤土等の流出防止対策</p>

95 白保 第1回調査(令和元年6月18日実施)

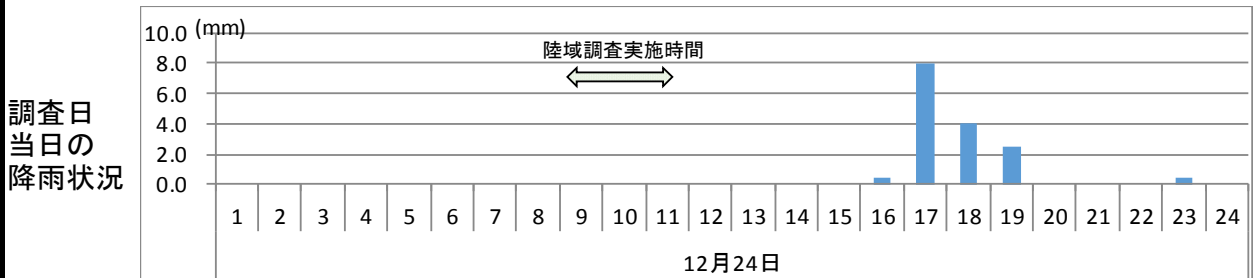
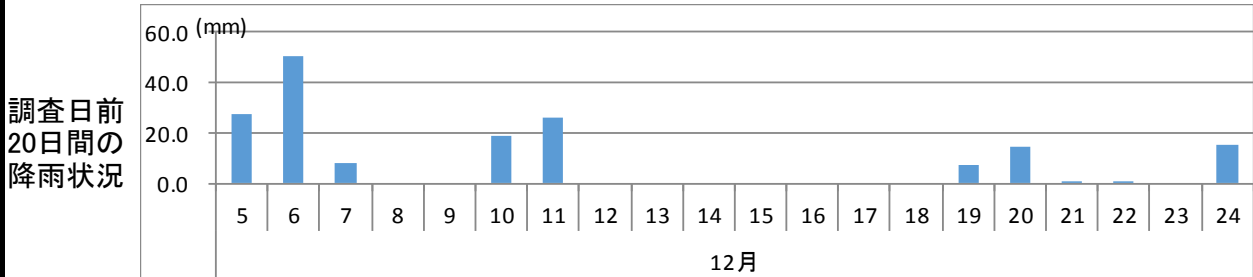
調査日は、調査前までに94mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

		
⑭ 昨年度の状況	⑮ ゲットウによるグリーンベルトの状況	⑮ 昨年度の状況
		
⑯ 浸透池の状況 (オーバーフローなし)	⑰ 沈砂池の状況 (オーバーフロー有り)	⑰ 採水の状況 (濁度71.4(度))
		
⑱ 沈砂池の状況 (濁り有り、出口状況不明)	⑲ 農地内集水桝の状況 (オーバーフローなし)	⑳ サトウキビ畑の状況 (流出なし)
		
㉑ 昨年度の状況	㉒ 工事現場の状況 (現在農地、流出なし)	㉒ 昨年度の状況

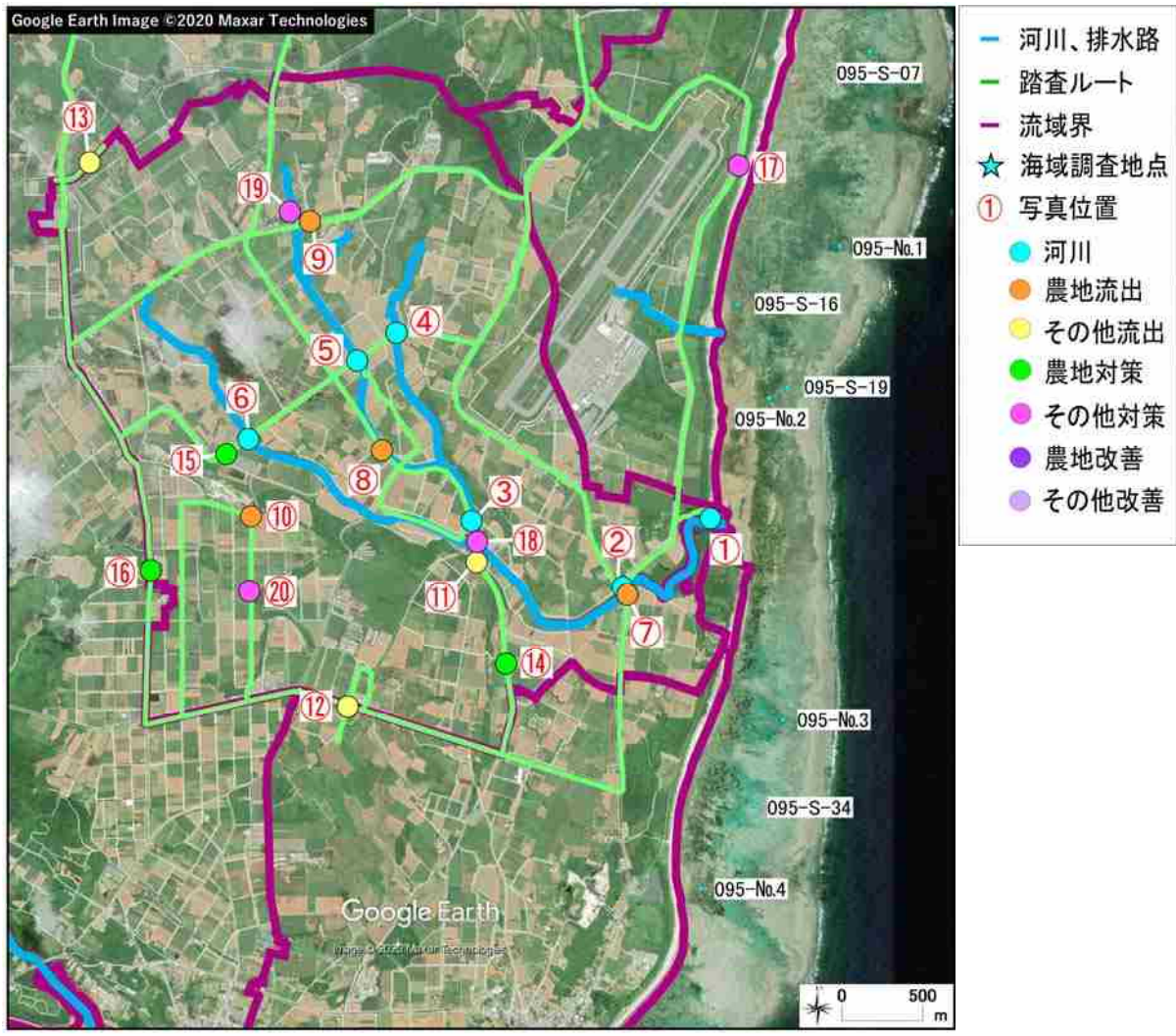
95 白保

第2回調査(令和元年12月24日実施)

降雨状況 盛山観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、令和元年7月16日であるため、本調査日令和元年12月24日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

95 白保 第2回調査(令和元年12月24日実施)

調査日には降雨量が15.5mmであったが、調査後の降雨のため 平常時として調査実施

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川流域において、濁りは確認されなかった。
- ③ 東側支川下流域において、濁りは確認されなかった。
- ④ 北側支川中流域において、濁りは確認されなかった。
- ⑤ 北西側支川中流域において、濁りは確認されなかった。
- ⑥ 西側支川中流域において、濁りは確認されなかった。

(2)農地

- ⑦ 流域内東側において、サウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑧ 流域内中央付近において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 流域内北側において、農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。また、道路や側溝には赤土等の堆積も確認された。
- ⑩ 流域内西側において、サウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。直下にある水路内には土砂の堆積が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 東側河川下流域において、「下田原大橋橋梁整備工事(上部工2期)」が確認された。規模は1,965㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された
- ⑫ 流域内南側において、「石垣空港線道路改良工事(H31-1工区)」「石垣空港線道路改良事業(残土等集積地)」が確認された。規模は40×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。
- ⑬ 流域内北西側において、「石垣島農業水利事業 二又送水路他大里農道工区(その1)建設工事」が確認された。規模は3,564㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑭ 流域内南側のサウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑮ 流域内西側のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑯ 流域内西側のパイナップル畑において、ゲットウによるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑰ 流域内東側において、浸透池が確認された。
- ⑱ 北側支川と西側支川の合流地点において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
- ⑲ 流域内北側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
- ⑳ 流域内西側において、農地内集水柵が確認された。柵内には土砂が厚く堆積しており、現状あまり機能していないと予想される。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑦、⑩ 前回と比べ変化はなく、農地から道路へ若干の赤土等が流出していた。
- ⑧ 前回と比べ、サウキビ畑から道路へ赤土等の堆積量は増加していた。
- ⑨ 前回と比べ変化はなく、農地から道路へ赤土等が流出していた。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 前回と比べ変化はなく、工事は継続していた。
- ⑫ 前回と比べ、赤土等流出防止に係わる表示が新たに掲げられており、工事は継続していた。
- ⑬ 通行止めにより前回と同地点の確認は出来なかったが、工事は継続しているようであった。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑭ 前回と比べ変化はなく、勾配修正が施されていた。
- ⑮ 前回と比べ変化はなく、ゲットウによるグリーンベルトが施されていた。
- ⑯ 前回と比べ集水柵内に堆積した土砂が増加しており、更に機能が下がったと考えられる。

95 白保 第2回調査(令和元年12月24日実施)

調査日には降雨量が15.5mmであったが、調査後の降雨のため 平常時として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	② 下流域の状況 (濁りなし)	③ 東側支川下流域の状況 (濁りなし)
		
④ 北側支川中流域の状況 (濁りなし)	⑤ 北西側支川中流域の状況 (濁りなし)	⑥ 西側支川中流域の状況 (濁りなし)
		
⑦ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出状況	⑦ 前回の状況	⑧ サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況
		
⑧ 前回の状況	⑨ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	⑨ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況
		
⑨ 前回の状況	⑨ 前回の状況	⑩ サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕状況

95 白保 第2回調査(令和元年12月24日実施)

調査日には降雨量が15.5mmであったが、調査後の降雨のため 平常時として調査実施

		
<p>⑩ 前回の状況</p>	<p>⑪ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑪ 工事現場の状況</p>
		
<p>⑪ 工事現場の状況</p>	<p>⑪ 前回の状況</p>	<p>⑫ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>
		
<p>⑫ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑫ 工事現場の状況</p>	<p>⑫ 工事現場の状況</p>
		
<p>⑫ 前回の状況</p>	<p>⑬ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑬ 工事現場の状況</p>
		
<p>⑬ 工事現場の状況</p>	<p>⑬ 前回の状況</p>	<p>⑭ 勾配修正による赤土等の流出防止対策</p>

95 白保 第2回調査(令和元年12月24日実施)

調査日には降雨量が15.5mmであったが、調査後の降雨のため 平常時として調査実施

		
⑭ 前回の状況	⑮ マルチングによる赤土等流出防止対策	⑯ ゲットウによるグリーンベルトの状況
		
⑰ 前回の状況	⑱ 浸透池の状況	⑲ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)
		
⑳ 沈砂池の状況	㉑ 農地内集水柵の状況 (柵内土砂堆積)	㉒ 前回の状況

94 宮良川河口

流域内状況

本流域は、宮良川を主とする流域であり、石垣島南東部に位置する。
 河川上流域には、真栄里ダム(①)や、底原ダム(②)がある。
 中流域には堰が存在する(ヒアリング等の情報収集により)。
 流域内には、「土地改良区」等で整備された農地が広がっている。農地では主にサトウキビが栽培されている。

流域位置図



流域図



①真栄里ダム



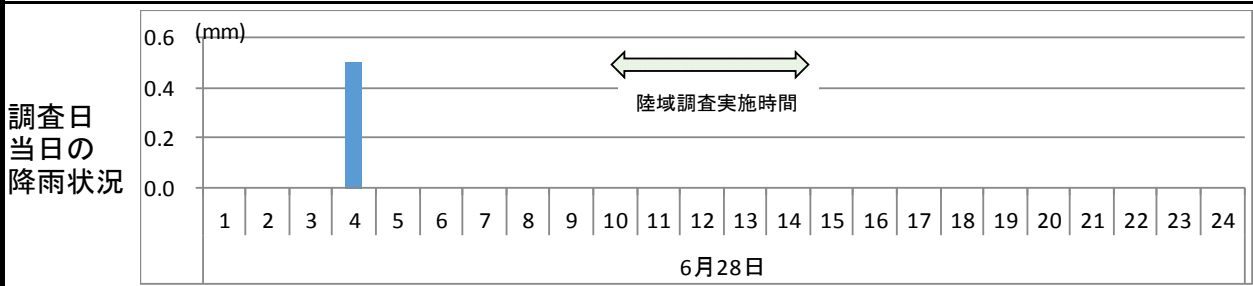
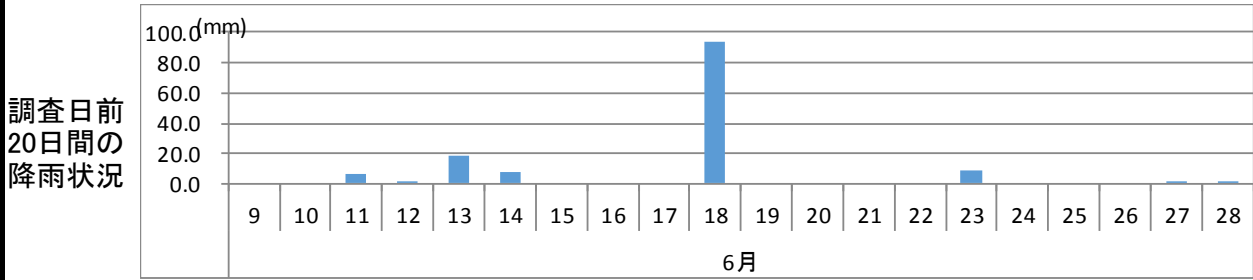
②底原ダム

* 衛星写真の撮影日は 令和元年7月16日 であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

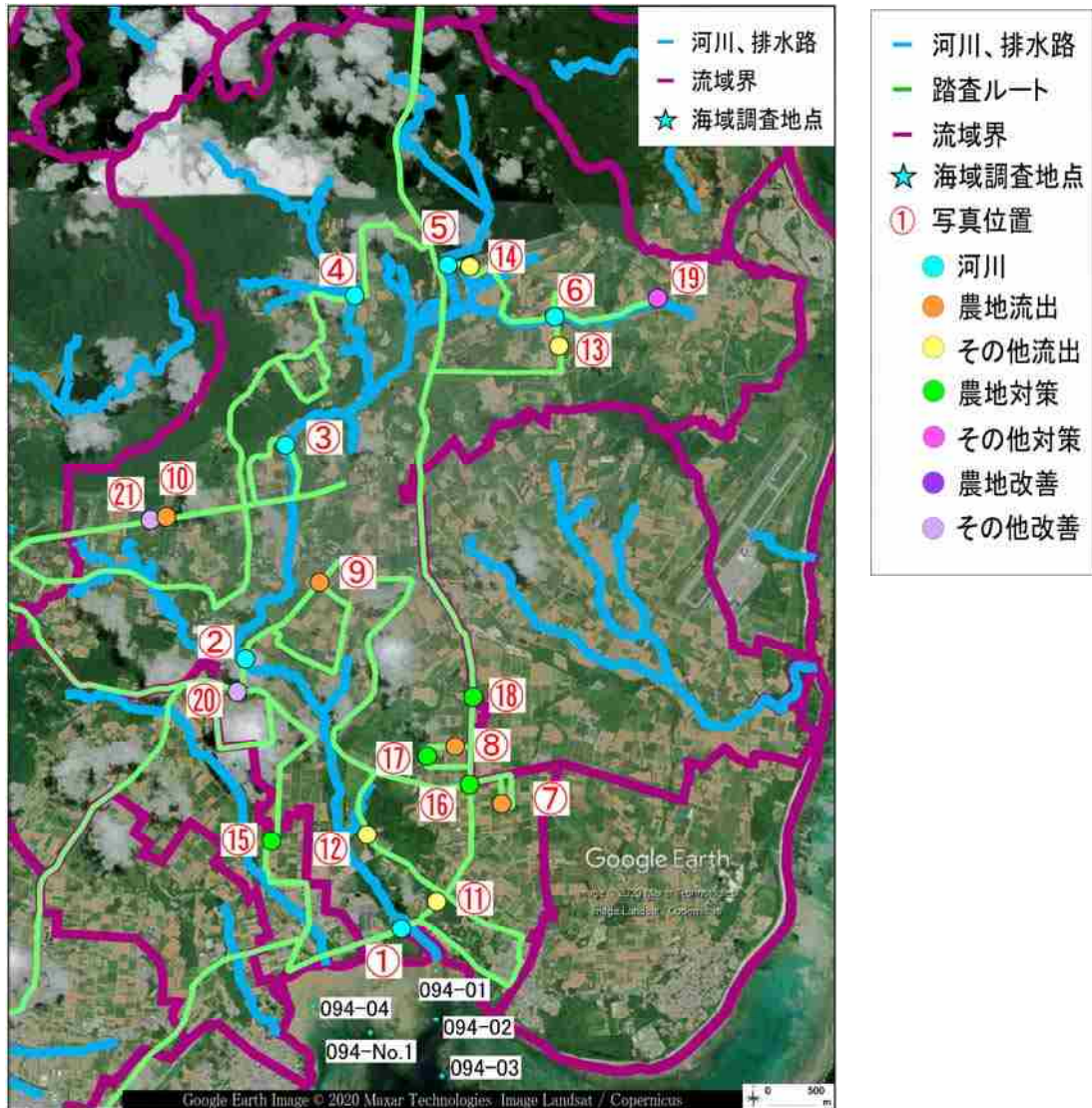
94 宮良川河口

第1回調査(令和元年6月28日実施)

降雨状況 盛山観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、令和元年7月16日であるため、本調査日令和元年6月28日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

94 宮良川河口 第1回調査(令和元年6月28日実施)
調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施
流出情報等
(1)河口、河川
① 河口域において、濁りは確認されなかった。
② 河川中流域において、濁りは確認されなかった。
③ 河川中流域において、濁りは確認されなかった。
④ 北側支川上流にある真栄里ダムにおいて、放水が確認されたものの、濁りはなかった。
⑤ 北東側支川にある底原ダムにおいて、放水は確認されなかった。
⑥ 河川上流域において、濁りは確認されなかった。
(2)農地
⑦ 流域内東側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
⑧ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
⑨ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
⑩ 流域内西側において、裸地農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
(3)その他(造成地や工事など)
⑪ 流域内南側において、宅地建設用の造成地が確認された。規模は20×10m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されず、赤土等の若干の流出痕があった。
⑫ 流域内南側において、「高山橋橋梁整備工事(下部工P5)」が確認された。規模は9,649㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。
⑬ 流域内北東側において、「大座地区ほ場整備工事(H30-1)」が行われていた。規模は34,100㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。吹付工や土のうによる赤土等流出防止対策が確認された。
⑭ 流域内北側において、「平成30年度 石垣島農業水利事業 太陽光発電施設土木工事」によって造成されたと考えられる造成地が確認された。規模は50×20m程度あったが、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。目立つ裸地は無く、流出可能性は低いと考えられる。
流出防止対策等
(1)農地
⑮ 流域内南西側のサトウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
⑯ 流域内中央付近のサトウキビ畑において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。
⑰ 流域内中央付近のサトウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
⑱ 流域内東側のパイナップル畑において、ゲットウとベチバーによるグリーンベルトが確認された。
(2)その他(造成地や工事など)
⑲ 流域内北東側において、沈砂池が確認された。オーバーフローはなかった。
過年度確認地点との比較
流出情報等
(1)農地
⑦,⑧, 昨年度と比べ変化はなく、パイナップル畑や農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
⑨ た。
(2)その他(造成地や工事など)
⑪ 昨年度と比べ変化はなく、宅地造成地から赤土等の若干の流出痕が確認された。
⑫ 昨年度と比べ、年度による工事名と範囲の変更があったものの、橋梁整備工事自体は継続して行われていた。
⑬ 昨年度と比べ、年度による工事名と範囲の変更があったものの、ほ場整備工事自体は継続して行われていた。
⑭ 昨年度と比べ、工事は行われていないようであったが、ビニルシート等による流出防止対策が施されており、赤土等の流出の可能性は低いと考えられる。
⑳ 昨年度、流域内中央付近において確認された「石垣島農業水利事業 平喜名右岸送水路市道工区(その1)工事」は完了していた。裸地には砂利が敷かれ、道路上にも赤土等の流出は確認されなかったため、今後赤土等の流出の可能性は低いと考えられる。
㉑ 昨年度と比べ、流域内西側において確認された濁水が噴き出す箇所は補修が完了していた。
流出防止対策等
(1)農地
⑮ 昨年度と比べ変化はなく、サトウキビ畑に勾配修正による赤土等の流出防止対策施されていた。
⑱ 昨年度と比べ変化はなく、パイナップル畑にグリーンベルトが施されていた。

94 宮良川河口 第1回調査(令和元年6月28日実施)

調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川中流域の状況 (濁りなし)
		
② 河川中流域の状況 (濁りなし)	③ 河川中流域の状況 (濁りなし)	④ 真栄里ダムの状況 (放水有り、濁りなし)
		
⑤ 底原ダムの状況 (放水なし)	⑤ 底原ダムの状況 (放水なし)	⑥ 河川上流域の状況 (濁りなし)
		
⑦ 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況	⑦ 昨年度の状況	⑧ 農地から道路へ赤土等の 若干の流出痕状況
		
⑧ 昨年度の状況	⑨ サトウキビ畑から道路や側 溝へ赤土等の流出痕状況	⑨ 昨年度の状況

94 宮良川河口 第1回調査(令和元年6月28日実施)

調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑩ 農地から道路へ赤土等の流出状況	⑪ 宅地建設工事の状況	⑪ 昨年度の状況
 <p>沖縄県赤土等流出防止条例に係る表示 工事名 高山橋橋梁整備工事(下部工P5) 通知書番号 八保第6-31014号 通知年月日 令和元年6月11日 工事面積 9,649㎡ 工事期間 平成31年2月20日~令和元年12月6日 管理者名 知念土建 波平 吉次 陸上処理場所在り 石垣市宇白保(白保ロードパーク予定地)</p>		
⑫ 赤土等流出防止条例に係わる表示	⑫ 工事現場の状況	⑫ 昨年度の状況
 <p>沖縄県赤土等流出防止条例に係る表示 工事名 大宮地区住居整備工事(H11-1) 通知書番号 八保第6-30075号 通知年月日 平成31年2月12日 工事面積 3,810㎡ 工事期間 平成31年2月12日~令和元年10月10日 管理者名 住居建設株式会社 幸地 隆策 陸上処理場所在り 石垣市宇白保(白保ロードパーク予定地)</p>		
⑬ 赤土等流出防止条例に係わる表示	⑬ 工事現場の状況	⑬ 工事現場の状況
		
⑬ 工事現場の状況	⑬ 工事現場の状況	⑬ 昨年度の状況
		
⑬ 昨年度の状況	⑭ 太陽光発電施設工事の状況	⑭ 昨年度の状況

94 宮良川河口 第1回調査(令和元年6月28日実施)

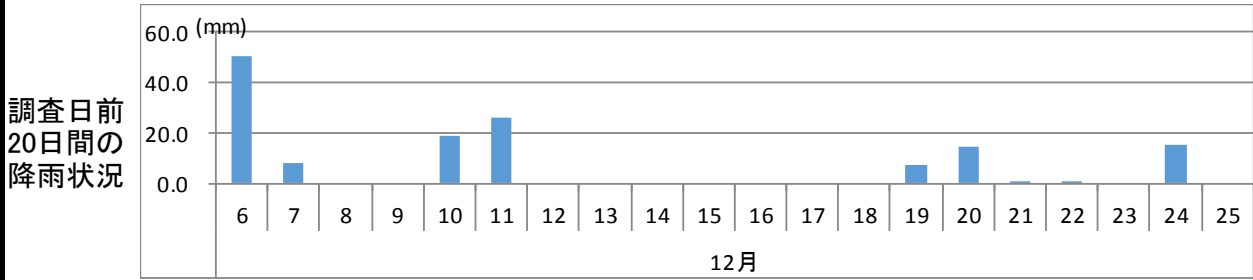
調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

		
<p>⑮ 勾配修正による赤土等の流出防止対策</p>	<p>⑮ 昨年度の状況</p>	<p>⑯ ベチバーによるグリーンベルトの状況</p>
		
<p>⑰ マルチングによる赤土等の流出防止対策</p>	<p>⑱ ゲットウとベチバーによるグリーンベルトの状況</p>	<p>⑱ 昨年度の状況</p>
		
<p>⑲ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)</p>	<p>⑳ 工事完了後の状況 (流出なし)</p>	<p>⑳ 昨年度の状況</p>
		
<p>㉑ 水が噴き出していた箇所 (流出なし)</p>	<p>㉑ 昨年度の状況</p>	

94 宮良川河口

第2回調査(令和元年12月25日実施)

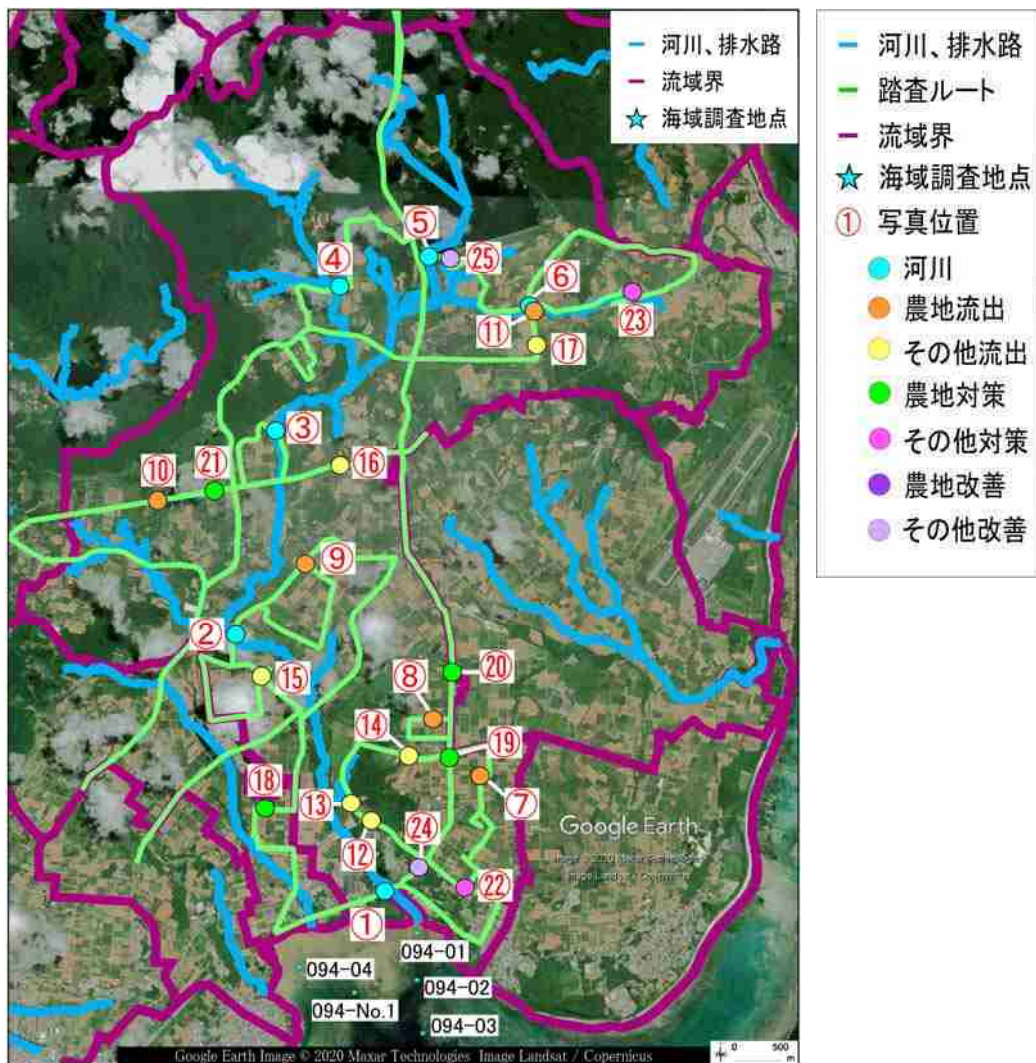
降雨状況 盛山観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、令和元年7月16日であるため、本調査日令和元年12月25日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

94 宮良川河口 第2回調査(令和元年12月25日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川中流域において、若干の濁りが確認され、濁度は1.8(度)であった。
- ③ 河川中流域において、若干の濁りが確認され、濁度は2.4(度)であった。
- ④ 北側支川上流にある真栄里ダムにおいて、放水が確認されたものの、濁りはなかった。
- ⑤ 北東側支川にある底原ダムにおいて、放水は確認されなかった。
- ⑥ 河川上流域において、若干の濁りが確認され、濁度は13.8(度)であった。

(2)農地

- ⑦ 流域内東側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑧ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑨ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑩ 流域内西側において、農地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑪ 流域内北東側において、水田が確認された。地点⑥の濁りは水田から少しずつ流出した濁水が原因であると考えられる。また、水田は水を張っているわけではなく、滞留水は前日の雨水であると考えられる。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑫ 流域内南側において、「石垣空港線道路改良工事(H31-1工区)」が確認された。規模は6,568㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。法面保護等が施されており、赤土等の流出の可能性は低いと考えられる。
- ⑬ 流域内南側において、「高山橋橋梁整備工事(下部工P5)」が確認された。規模は9,649㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。
- ⑭ 流域内南側において、「平成30年度 石垣島農業水利事業 平喜名左岸送水路宮良産業道路工区(その2)工事」が確認された。規模は4,535㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。現場内にはビニルシート等の流出防止対策が確認された。
- ⑮ 流域内中央付近において、「平成30年度 石垣島農業水利事業 平喜名右岸送水路農道工区工事」が確認された。規模は2,557㎡/2,969㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。現場内にはビニルシート等の流出防止対策が確認された。
- ⑯ 流域内中央付近において、農地灌漑工事が確認された。規模は50×15m程度であり、赤土等流出防止に係わる表示は確認されなかった。
- ⑰ 流域内北東側において、「大座地区ほ場整備工事(H30-1)」が行われていた。規模は34,100㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑱ 流域内南西側のサトウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑲ 流域内中央付近のサトウキビ畑において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。
- ⑳ 流域内東側のパイナップル畑において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。
- ㉑ 流域内西側のサトウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ㉒ 流域内南側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
- ㉓ 流域内北東側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑦,⑧,⑨,⑩ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑等の農地から道路や側溝へ赤土等が流出していた。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑬ 前回と比べ変化はなく、工事は継続して行われていた。
- ⑰ 前回と比べ、裸地は目立つものの、法面保護等が施されており、赤土等の流出可能性は低いと考えられる。
- ⑳,㉑ 前回と比べ、工事は完了しており、今後赤土等の流出の可能性はないと考えられる。




流出防止対策等

(1)農地

- ⑱ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑に勾配修正による赤土等の流出防止対策施されていた。
- ⑲ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑にベチバーによるグリーンベルトが施されていた。
- ⑳ 前回と比べ変化はなく、グリーンベルトが施されていた。

94 宮良川河口 第2回調査(令和元年12月25日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川中流域の状況 (濁り少)
		
② 採水の状況 (濁度1.8(度))	③ 河川中流域の状況 (濁り少)	③ 採水の状況 (濁度2.4(度))
		
④ 真栄里ダムの状況 (放水有り、濁りなし)	④ 真栄里ダムの状況 (放水有り、濁りなし)	⑤ 底原ダムの状況 (放水なし)
		
⑤ 底原ダムの状況 (放水なし)	⑥ 河川上流域の状況 (濁り少)	⑥ 採水の状況 (濁度13.8(度))
		
⑦ 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況	⑦ 前回の状況	⑧ 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況

94 宮良川河口 第2回調査(令和元年12月25日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
<p>⑧ 前回の状況</p>	<p>⑨ サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況</p>	<p>⑨ 前回の状況</p>
		
<p>⑩ 農地から道路へ赤土等の流出痕状況</p>	<p>⑩ 前回の状況</p>	<p>⑪ 地点⑥周辺の濁水の流出可能性のある水田の状況</p>
		
<p>⑫ 赤土等流出防止条例に係る表示</p>	<p>⑫ 工事現場の状況</p>	<p>⑫ 工事現場の状況</p>
		
<p>⑬ 赤土等流出防止条例に係る表示</p>	<p>⑬ 工事の状況</p>	<p>⑬ 前回の状況</p>
		
<p>⑭ 赤土等流出防止条例に係る表示</p>	<p>⑭ 工事現場の状況</p>	<p>⑮ 赤土等流出防止条例に係る表示</p>

94 宮良川河口 第2回調査(令和元年12月25日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑮ 工事現場の状況	⑮ 工事現場の状況	⑮ 工事現場の状況
		
⑰ 赤土等流出防止条例に係わる表示	⑰ 工事現場の状況	⑰ 工事現場の状況
		
⑰ 前回の状況	⑰ 前回の状況	⑰ 前回の状況
		
⑰ 前回の状況	⑱ 勾配修正による赤土等の流出防止対策	⑱ 前回の状況
		
⑲ ベチバーによるグリーンベルトの状況	⑲ 前回の状況	⑲ ベチバーによるグリーンベルトの状況

94 宮良川河口 第2回調査(令和元年12月25日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑳ 前回の状況	㉑ マルチングによる赤土等の流出防止対策	㉒ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)
		
㉓ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)	㉔ 工事終了後の状況 (流出なし)	㉔ 前回の状況
		
㉕ 工事完了後の状況 (流出なし)	㉕ 前回の状況	

97 野崎川河口

流域内状況

本流域は、野崎川を主とする流域であり、西表島の北側に位置する。
流域内には、「農地開発事業」(①)により整備された農地が広がる。
上流域には堰が存在する(ヒアリング等の情報収集により)。
農地より内陸側は山地となっており、この箇所から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。

流域位置図



流域図

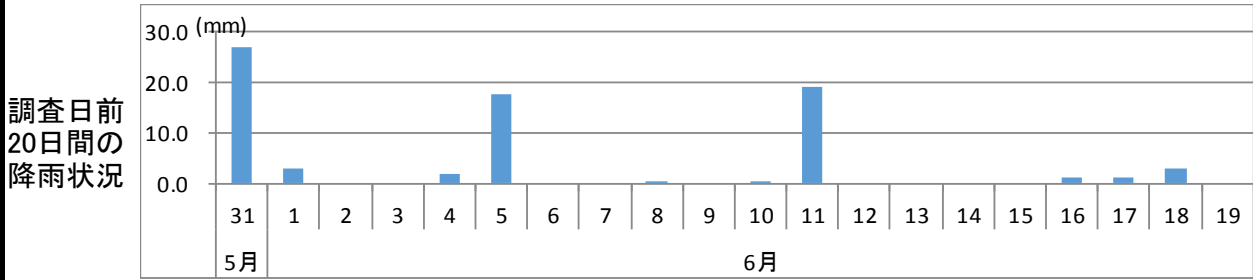


* 衛星写真の撮影日は平成30年11月14日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

97 野崎川河口

第1回調査(令和元年6月19日実施)

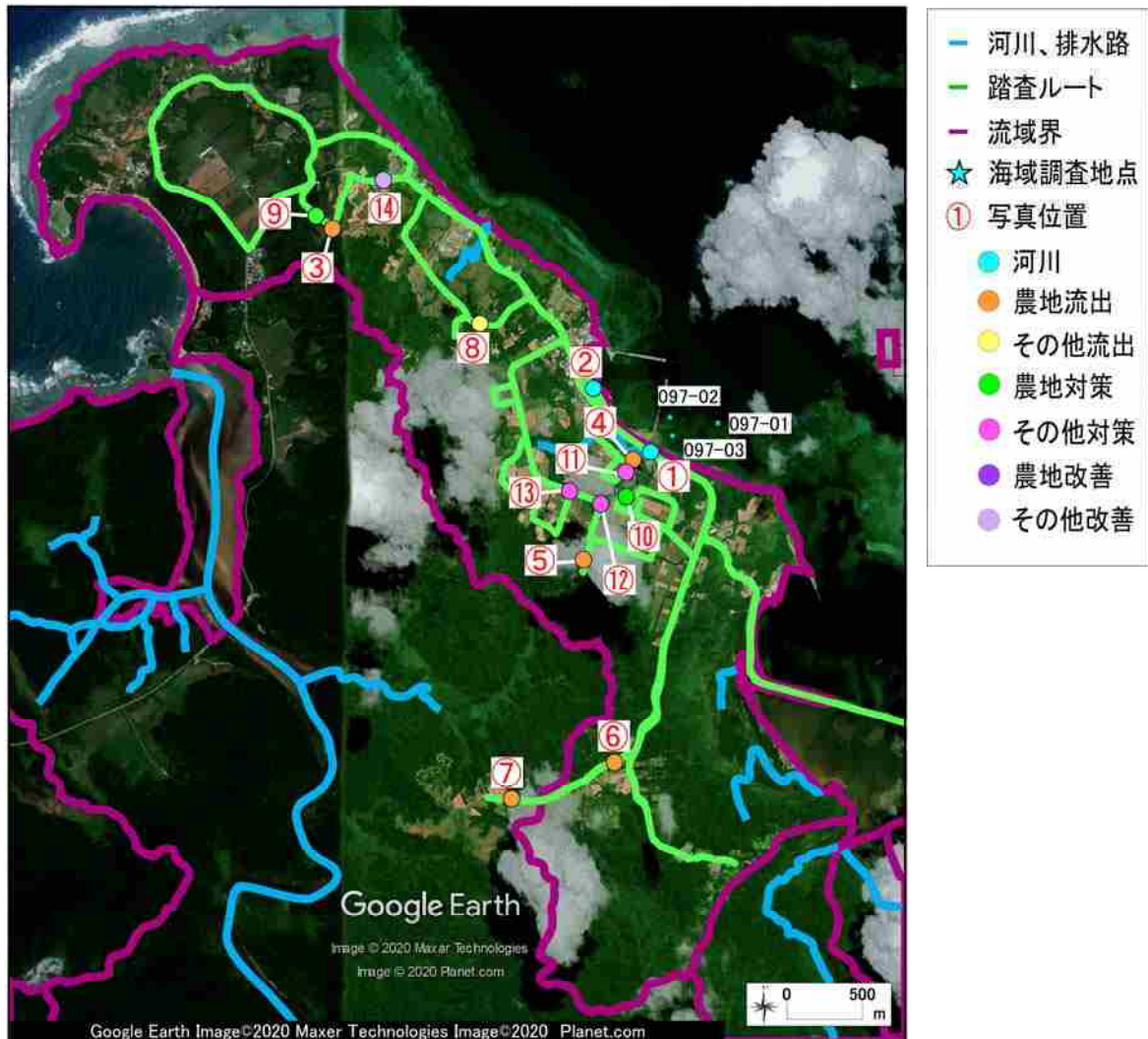
降雨状況 西表島観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成30年11月14日であるため、本調査日令和元年6月19日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

97 野崎川河口 第1回調査(令和元年6月19日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 北側河口域において、濁りは確認されなかった。

(2)農地

- ③ 流域内北側において、休耕地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ④ 流域内東側において、農地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑤ 流域内中央付近において、赤土等の流出可能性の高い農地が確認された。
- ⑥ 流域内南側において、パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑦ 流域内南側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑧ 流域内西側において造成地が確認された。規模は30×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。また、道路や側溝へ若干の赤土等の流出痕が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑨ 流域内北側のパイナップル畑において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。しかし、道路や側溝へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑩ 流域内中央付近のパイナップル畑において、マルチングと植栽によるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 流域内東側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
- ⑫,⑬ 流域内中央付近において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。

過年度確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ③ 昨年度と比べ、パイナップル畑のマルチングはなくなり、休耕地になっていた。休耕地からは赤土等の流出痕が確認された。
- ④ 昨年度と比べ変化はなく、道路に農地から流出したと考えられる赤土等が堆積していた。
- ⑤ 昨年度と比べ、農地から側溝へ赤土等の流出痕は確認されず、側溝内の赤土等の堆積もなかった。しかし、側溝周辺に赤土等の流出防止対策がないことから、依然として赤土等の流出可能性は高いと考えられる。
- ⑥,⑦ 昨年度と比べ変化はなく、パイナップル畑等の農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑭ 昨年度と比べ、宅地工事は進んでおり、コンクリートの布設により裸地面積が減ったため、今後この地点から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑨ 昨年度と比べ、パイナップル畑には新たにベチバーによるグリーンベルトが施されていた。

97 野崎川河口 第1回調査(令和元年6月19日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 北側河口域の状況 (濁りなし)
		
③ 休耕地から道路へ赤土等の 流出痕状況	③ 昨年度の状況	④ 農地から道路へ赤土等の 若干の流出痕状況
		
④ 昨年度の状況	⑤ 赤土等の流出可能性の高 い農地の状況	⑤ 昨年度の状況
		
⑥ パイナップル畑から道路や 側溝へ赤土等の流出痕状況	⑥ 昨年度の状況	⑦ 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況
		
⑦ 昨年度の状況	⑧ 造成地の状況	⑧ 造成地の状況

97 野崎川河口 第1回調査(令和元年6月19日実施)

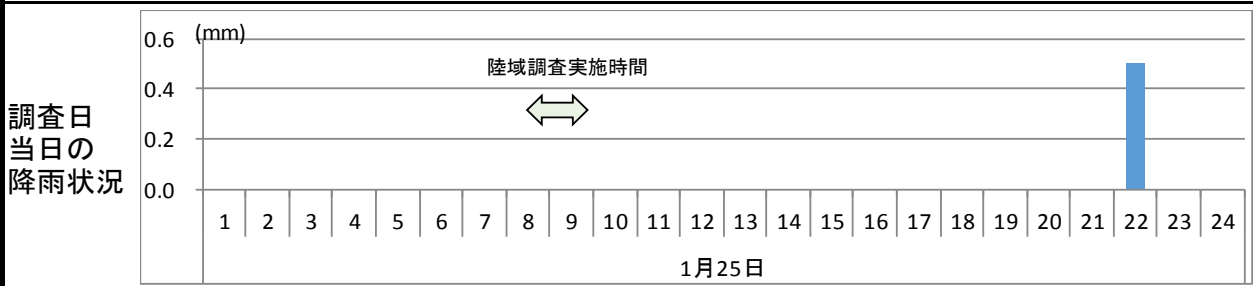
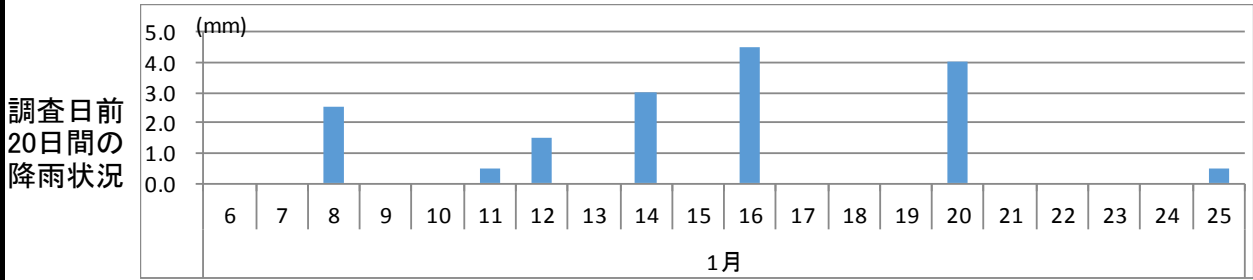
調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑨ ベチバーによるグリーンベルトの状況	⑨ 昨年度の状況	⑩ マルチングと植栽によるグリーンベルトの状況
		
⑩ マルチングと植栽によるグリーンベルトの状況	⑪ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)	⑫ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)
		
⑬ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)	⑭ 建設現場の状況 (流出なし)	⑭ 建設現場の状況 (流出なし)
		
⑭ 昨年度の状況		

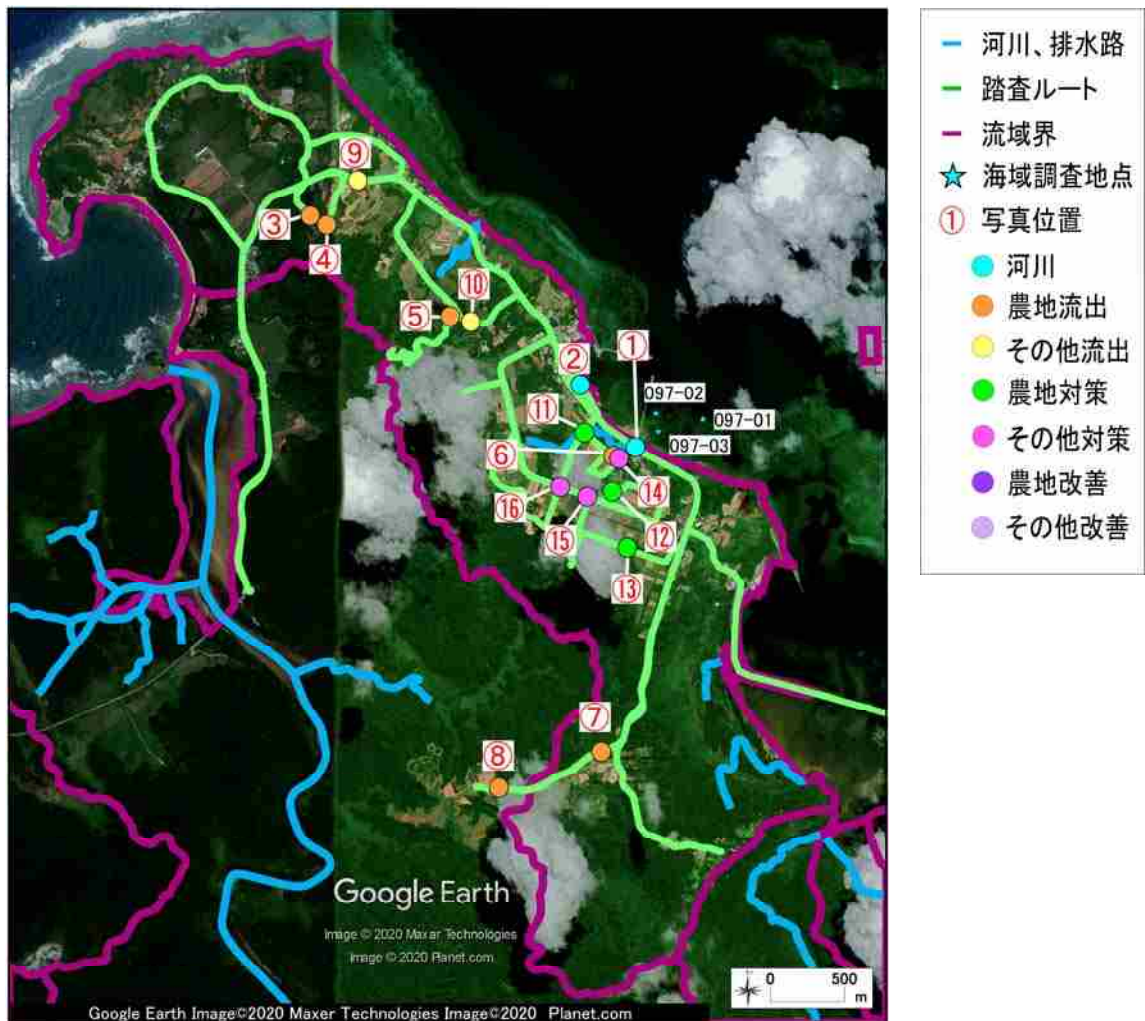
97 野崎川河口

第2回調査(令和2年1月25日実施)

降雨状況 西表島観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成30年11月14日であるため、本調査日令和2年1月25日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

97 野崎川河口 第2回調査(令和2年1月25日実施)

調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 北側河口域において、濁りは確認されなかった。

(2)農地

- ③ 流域内北側において、パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ④ 流域内北側において、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。また、側溝への土砂の堆積も確認された。
- ⑤ 流域内西側において、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑥ 流域内東側において、農地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑦ 流域内南側において、パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑧ 流域内南側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑨ 流域内北側において、作業ヤードが確認された。流出状況は不明だが剥き出しの残土が目立っており、赤土等の流出の可能性があると考えられる。
- ⑩ 流域内西側において民間事業Aが確認された。規模は1,188㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。道路や側溝へ赤土等の若干の流出痕が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑪ 流域内東側の農地において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。
- ⑫ 流域内中央付近のパイナップル畑において、植栽によるグリーンベルトが確認されたが、グリーンベルトのない箇所から一部道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑬ 流域内西側の休耕地において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑭ 流域内東側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
- ⑮ 流域内中央付近において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかったが、沈砂池内は土砂が堆積しており、機能が弱まっていると予想される。
- ⑯ 流域内中央付近において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ③,④,
- ⑤,⑦, 前回と比べ変化はなく、パイナップル畑等の農地から道路や側溝へ赤土等が流出していた。
- ⑧
- ⑥ 前回と比べ、農地にマルチングが施されていたが、道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑩ 前回と比べ、工事は進んでおり、赤土等流出防止条例に係わる表示が掲げられていた。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑫ 前回と比べ、パイナップル畑のマルチングは無くなっていたが、植栽によるグリーンベルトに変化はなかった。
- ⑮ 前回と比べ、沈砂池内に堆積した土砂が増加していた。

97 野崎川河口 第2回調査(令和2年1月25日実施)

調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 北側河口域の状況 (濁りなし)
		
③ パイナップル畑から道路や側溝へ若干の赤土等の流出痕状況	③ 前回の状況	④ パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕状況
		
④ 前回の状況	⑤ パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕状況	⑤ 昨年度の状況
		
⑥ 農地から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑥ 前回の状況	⑦ パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況
		
⑦ 前回の状況	⑧ 農地から道路へ赤土等の流出痕状況	⑧ 前回の状況

97 野崎川河口 第2回調査(令和2年1月25日実施)

調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 個人情報に該当するため 非表示とした </div>	
<p>⑨ 作業ヤードの状況</p>	<p>⑩ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑩ 工事の状況</p>
		
<p>⑩ 前回の状況</p>	<p>⑩ 前回の状況</p>	<p>⑪ ベチバーによるグリーンベルトの状況</p>
		
<p>⑫ 植栽による赤土等の流出防止対策</p>	<p>⑫ 前回の状況</p>	<p>⑫ 前回の状況</p>
		
<p>⑬ マルチングによる赤土等の流出防止対策</p>	<p>⑭ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)</p>	<p>⑮ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし、土砂堆積)</p>
		
<p>⑮ 前回の状況</p>	<p>⑯ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)</p>	

99 与那良川河口

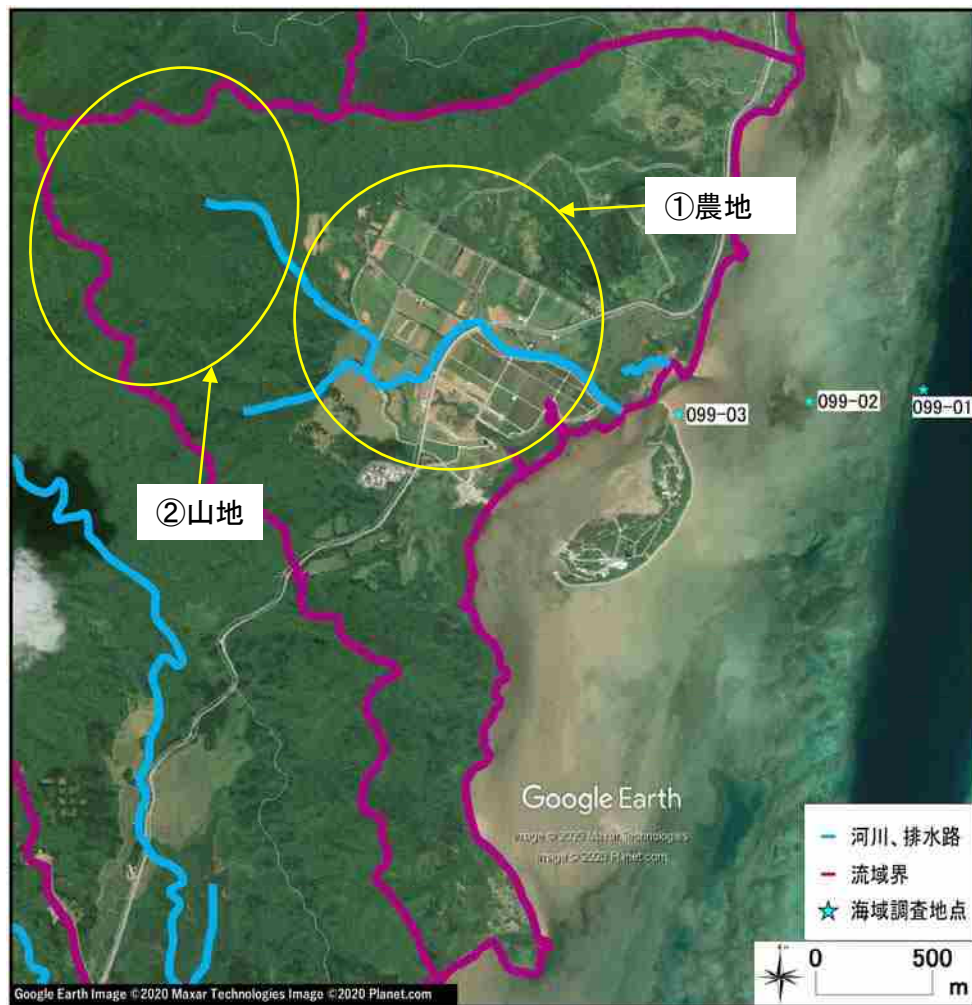
流域内状況

本流域は、与那良川を主とする流域であり、西表島東部に位置する。
河川下流域から上流域周辺まで、農地が広がっている(①)。
農地より内陸側は、山地となっており、この箇所から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる(②)。

流域位置図



流域図

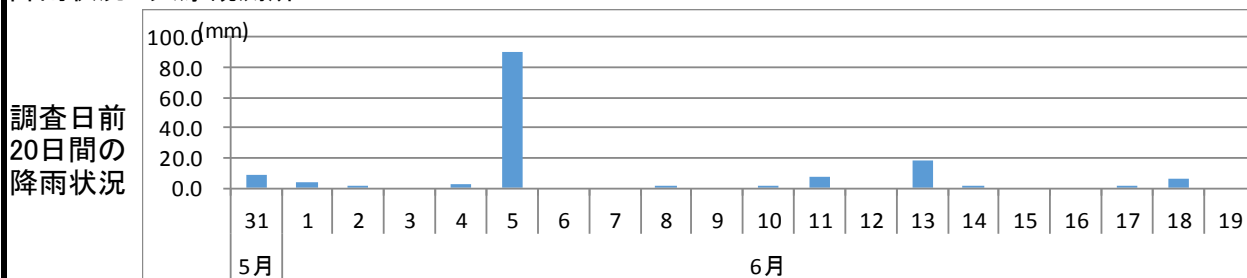


* 衛星写真の撮影日は平成30年11月8日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

99 与那良川河口

第1回調査(令和元年6月19日実施)

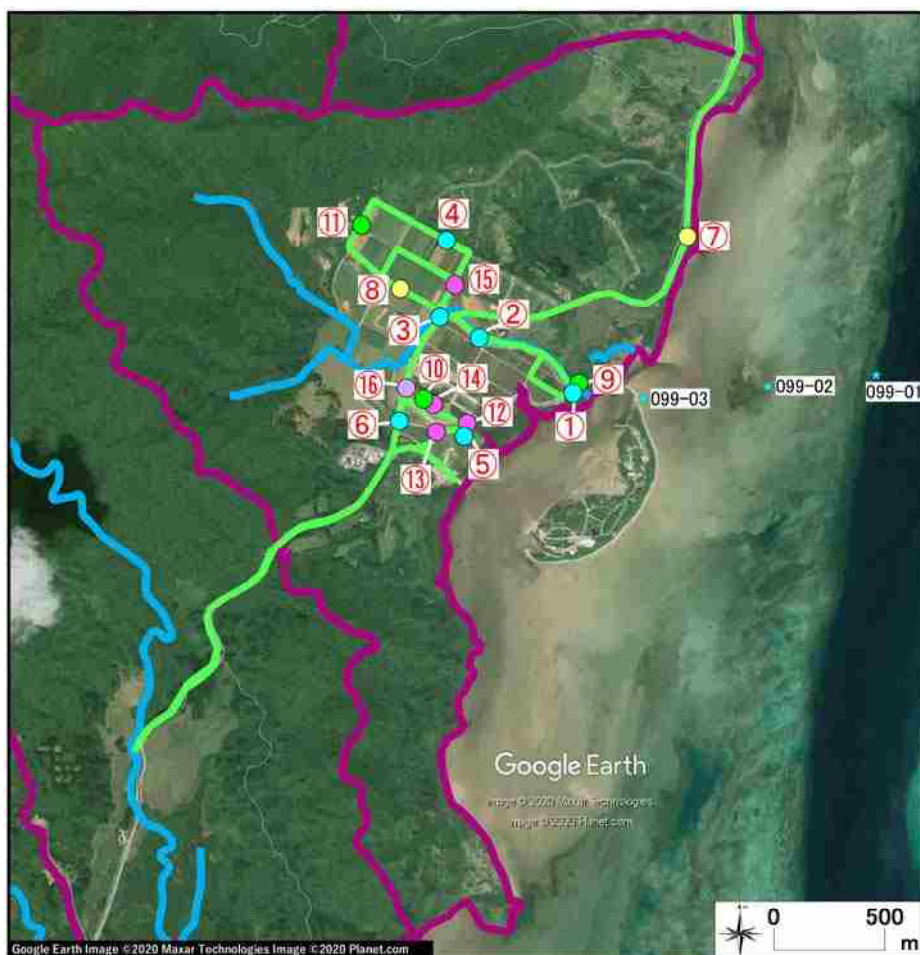
降雨状況 大原観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



- 河川、排水路
- 踏査ルート
- 流域界
- ★ 海域調査地点
- ① 写真位置
- 河川
- 農地流出
- その他流出
- 農地対策
- その他対策
- 農地改善
- その他改善

* 衛星写真の撮影日は、平成30年11月8日であるため、本調査日令和元年6月19日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

99 与那良川河口 第1回調査(令和元年6月19日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域付近において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川下流域において、濁りは確認されなかった。
- ③ 河川中流域において、濁りは確認されなかった。
- ④ 地点③の水路上流の山部からの流れ込み箇所において、濁りは確認されなかった。
- ⑤ 南側河川河口付近において、濁りは確認されなかった。
- ⑥ 南側河川上流域において、濁りは確認されなかった。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑦ 流域内東側において、土砂崩れが確認され、「白浜南風見線災害復旧工事(平成30年災4号・5号)」が行われていた。規模は10×5m程度であり、赤土等流出防止に係わる表示は確認されなかった。また、土砂崩れ箇所には土のうやビニルシート等の流出防止対策が施されていたため、赤土等の流出可能性は低いと考えられる。
- ⑧ 流域内中央付近の牧場において、道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。

流出防止対策

(1)農地

- ⑨ 河川下流域の水田周辺において、畦畔や法面保護による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑩ 流域内南側の農地において、鉄柵等による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑪ 流域内北西付近の農地において、植栽によるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑫ 流域内南側において、沈砂地が確認された。オーバーフローはなかった。
- ⑬ 流域内南側において、沈砂地が確認された。オーバーフローしていたものの、濁りは無かった。
- ⑭ 流域内南側において、沈砂地が確認された。オーバーフローはなかった。
- ⑮ 流域内中央付近において、集水柵が確認された。

過年度確認地点との比較

流出情報等

(1)その他(造成地や工事など)

- ⑧ 昨年度と比べ変化はなく、牧場から道路へ赤土等が流出痕が確認された。
- ⑮ 昨年度と比べ、工事は完了しており、赤土等の流出はなかった。

流出防止対策

(1)農地

- ⑨ 昨年度と比べ変化はなく、水田周辺に畦畔や法面保護が施されていた。
- ⑩ 昨年度と比べ変化はなく、足場板による赤土等流出防止対策が確認された。
- ⑪ 昨年度と比べ変化はなく、植栽によるグリーンベルトが確認された。

99 与那良川河口 第1回調査(令和元年6月19日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川下流域の状況 (濁りなし)	③ 河川中流域の状況 (濁りなし)
		
④ 山部から水路へ流れ込み 箇所(濁りなし)	⑤ 南側河川下流域の状況 (濁りなし)	⑤ 南側河川下流域の状況 (濁りなし)
		
⑥ 南側河川上流域の状況 (濁りなし)	⑦ 土砂崩れ箇所の状況	⑧ 牧場から道路へ赤土等の 若干の流出痕状況
		
⑧ 昨年度の状況	⑨ 畦畔による赤土等の流出 防止対策	⑨ 法面保護による赤土等の 流出防止対策
		
⑨ 昨年度の状況	⑨ 昨年度の状況	⑩ 足場板による赤土等の流 出防止対策

99 与那良川河口 第1回調査(令和元年6月19日実施)

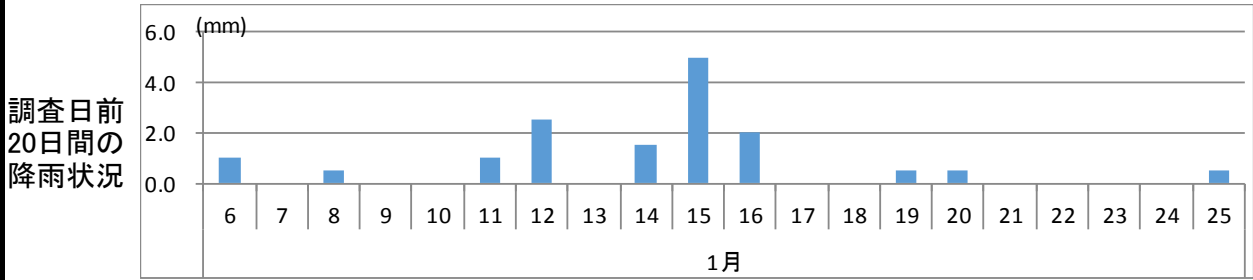
調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑩ 昨年度の状況	⑪ 植栽によるグリーンベルトの状況	⑪ 昨年度の状況
		
⑫ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)	⑬ 沈砂池の状況 (若干オーバーフロー)	⑬ 水路の状況 (濁りなし)
		
⑭ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)	⑮ 集水樹の状況	⑯ 工事完了後の状況 (流出なし)
		
⑯ 昨年度の状況		

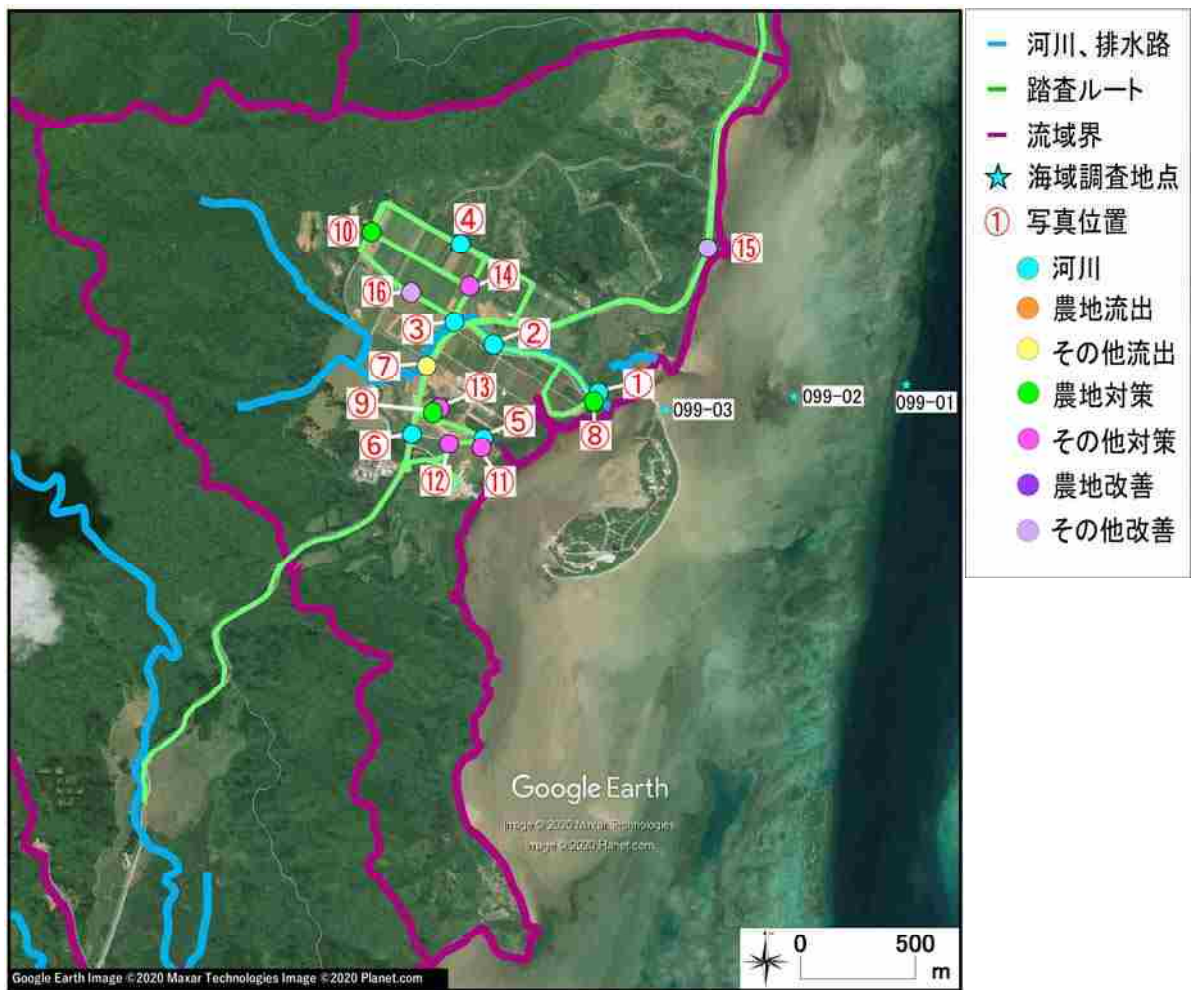
99 与那良川河口

第2回調査(令和2年1月25日実施)

降雨状況 大原観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成30年11月8日であるため、本調査日令和2年1月25日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

99 与那良川河口 第2回調査(令和2年1月25日実施)

調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域付近において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川下流域において、濁りは確認されなかった。
- ③ 河川中流域において、濁りは確認されなかった。
- ④ 地点③の水路上流の山部からの流れ込み箇所において、濁りは確認されなかった。
- ⑤ 南側河川河口付近において、濁りは確認されなかった。
- ⑥ 南側河川上流域において、濁りは確認されなかった。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑦ 流域内中央付近において、「与那良原地区ほ場整備工事(H31)」が確認された。規模は13,500㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。

流出防止対策

(1)農地

- ⑧ 河川下流域の水田周辺において、畦畔や法面保護による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑨ 流域内南側の農地において、足場板による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑩ 流域内北西付近の農地において、植栽によるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 流域内南側において、沈砂地が確認された。オーバーフローはなかった。
- ⑫ 流域内南側において、沈砂地が確認された。若干オーバーフローしていたものの、濁りは確認されなかった。
- ⑬ 流域内南側において、沈砂地が確認された。オーバーフローはなかったが、沈砂池内には土砂が堆積していた。
- ⑭ 流域内中央付近において、集水柵が確認された。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)その他(造成地や工事など)

- ⑮ 前回と比べ、土砂崩れ箇所の災害復旧工事は完了しており、若干の流出痕が残るものの、法面保護により表土はなく、今後この地点から赤土等の流出可能性はないと考えられる。
- ⑯ 前回と比べ、車の出入りによる跡が見えるものの、牧場から直接赤土等が流出する状態は確認されなかった。

流出防止対策

(1)農地

- ⑧ 前回と比べ変化はなく、水田周辺に畦畔や法面保護が施されていた。
- ⑨ 前回と比べ変化はなく、足場板による赤土等流出防止対策が確認された。
- ⑩ 前回と比べ変化はなく、植栽によるグリーンベルトが確認された。


99 与那良川河口 第2回調査(令和2年1月25日実施)

調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川下流域の状況 (濁りなし)	③ 河川中流域の状況 (濁りなし)
		
④ 山部から水路へ流れ込み 箇所(濁りなし)	⑤ 南側河川下流域の状況 (濁りなし)	⑤ 南側河川下流域の状況 (濁りなし)
		
⑥ 南側河川上流域の状況 (濁りなし)	⑦ 赤土等流出防止条例に係 わる表示	⑦ 工事の状況
		
⑧ 畦畔による赤土等の流出 防止対策	⑧ 法面保護による赤土等の 流出防止対策	⑧ 前回の状況
		
⑧ 前回の状況	⑨ 足場板による赤土等の流 出防止対策	⑨ 前回の状況

99 与那良川河口 第2回調査(令和2年1月25日実施)

調査日には降雨があったが0.5mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑩ 植栽によるグリーンベルトの状況	⑩ 前回の状況	⑪ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)
		
⑫ 沈砂池の状況 (若干オーバーフロー有り)	⑫ 水路の状況 (濁りなし)	⑬ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)
		
⑭ 集水柵の状況	⑮ 土砂崩れ箇所の状況 (工事完了・流出なし)	⑮ 前回の状況
		
⑯ 牧場の状況 (牧場からの直接流出なし)	⑯ 前回の状況	

103 嘉弥真水道

流域内状況

本流域は、小浜島の東側に位置する。
流域内のほとんどが、サトウキビ畑を主とする農地となっている(①)。
近年、沈砂池や排水路等の整備が活発に行われている。

流域位置図



流域図

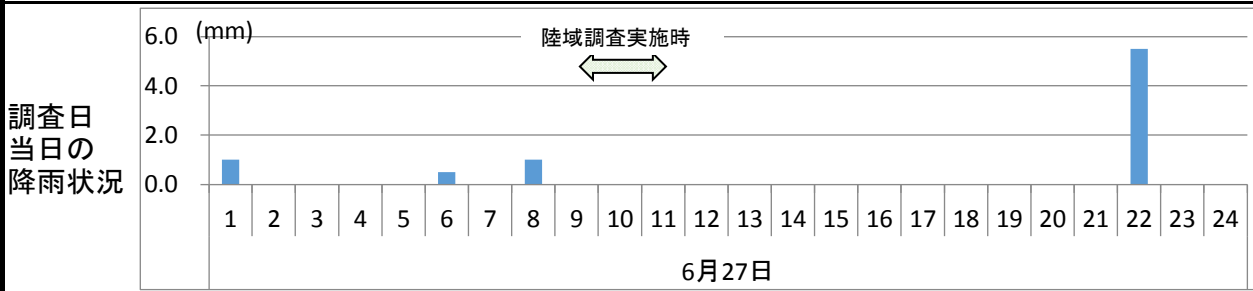
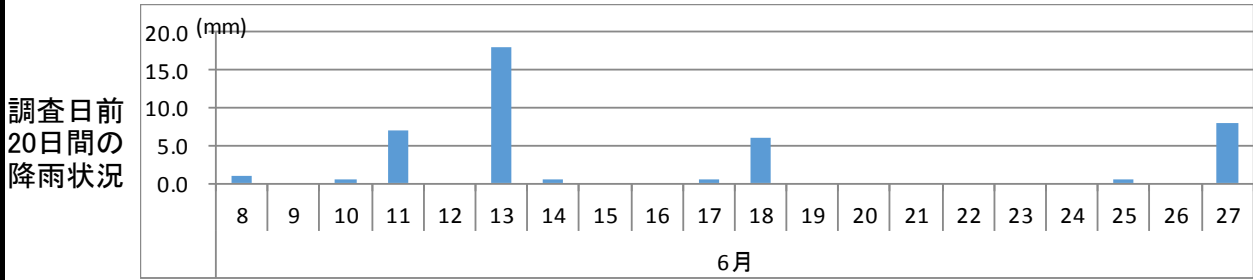


* 衛星写真の撮影日は平成29年9月10日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

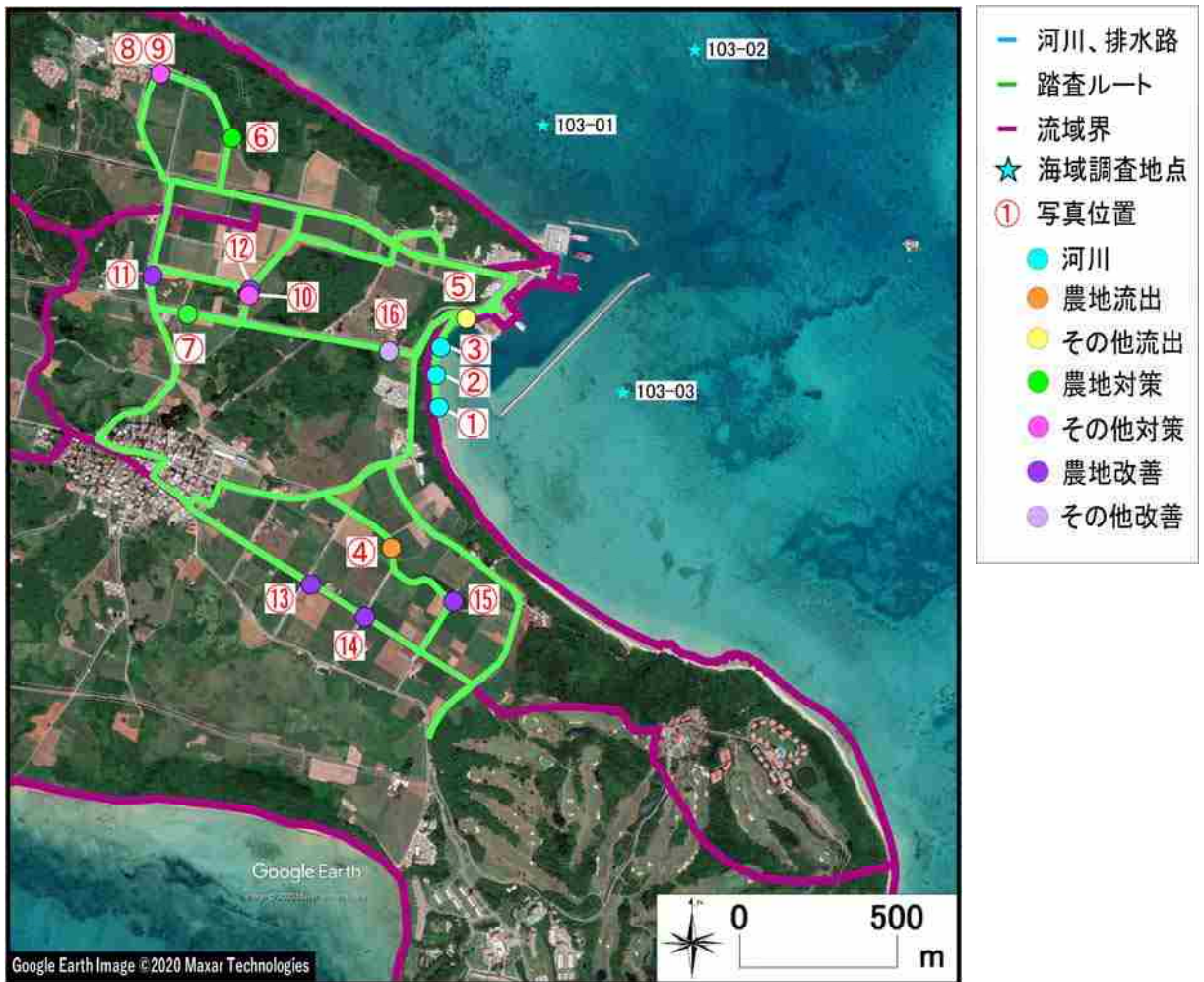
103 嘉弥真水道

第1回調査(令和元年6月27日実施)

降雨状況 大原観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成29年9月10日であるため、本調査日令和元年6月27日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

103 嘉弥真水道 第1回調査(令和元年6月27日実施)
調査日には降雨があったが8mmであったため 平常時 として調査実施
流出情報等
(1)河口、河川
① 南側河口域において、濁りは確認されなかった。
② 中央付近河口域において、濁りは確認されなかった。
③ 北側河口域において、濁りは確認されなかった。
(2)農地
④ 調査区域南側において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
(3)その他(造成地や工事など)
⑤ 調査区海岸付近において、「小浜港船揚場工事」が確認された。規模は3,369㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。また、汚濁防止膜の設置が確認された。
流出防止対策等
(1)農地
⑥ 調査区域北西側のサトウキビ畑において、草本によるグリーンベルトが確認された。
⑦ 調査区域西側のサトウキビ畑において、草本によるグリーンベルトが確認された。しかし、道路上へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
(2)その他(造成地や工事など)
⑧ 調査区域北西側において、集水柵が確認された。滞水していたが濁りはなく、オーバーフローは確認されなかった。
⑨ 調査区域北西側において、沈砂池が確認されたが、滞水は確認されなかった。
⑩ 調査区域中央付近において、農業用水池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
過年度確認地点との比較
流出情報等
(1)農地
④ 昨年度と比べ、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕は薄くなっていた。
⑦ 昨年度と比べ、サトウキビ畑には草本によるグリーンベルトが確認された。しかし、道路や水路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
⑪,⑬, 昨年度と比べ、牧草地やパイナップル畑から水路や道路、側溝へ赤土等の流出痕は確認されなかった。
⑫ 昨年度と比べ、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕は薄くなっていた。
(2)その他(造成地や工事など)
⑤ 昨年度と比べ変化はなく、工事が進んでおり、新たに汚濁防止膜も設置されていた。
⑯ 昨年度と比べ、草地から赤土等の流出痕は確認されなかった。
流出防止対策等
(1)農地
⑥ 昨年度と比べ変化はなく、草本によるグリーンベルトが施されていた。

103 嘉弥真水道 第1回調査(令和元年6月27日実施)

調査日には降雨があったが8mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 南側河口域の状況 (濁りなし)	① 南側河口域の状況 (濁りなし)	② 中央付近河口域の状況 (濁りなし)
		
③ 北側河口域の状況 (濁りなし)	④ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	④ 昨年度の状況
		
⑤ 赤土等流出防止条例に係わる表示	⑤ 工事現場の状況	⑤ 工事現場の状況
		
⑤ 昨年度の状況	⑤ 昨年度の状況	⑤ 昨年度の状況
		
⑥ 草本によるグリーンベルトの状況	⑥ 昨年度の状況	⑦ 草本によるグリーンベルトの状況

103 嘉弥真水道 第1回調査(令和元年6月27日実施)

調査日には降雨があったが8mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑦ サトウキビ畑の状況	⑦ 昨年度の状況	⑧ 集水樹の状況
		
⑨ 沈砂池の状況	⑩ 農業用水池の状況	⑪ 牧草地の状況 (流出なし)
		
⑪ 昨年度の状況	⑫ サトウキビ畑の状況 (流出なし)	⑫ 昨年度の状況
		
⑬ サトウキビ畑の状況 (流出なし)	⑬ 昨年度の状況	⑭ 牧草地の状況 (流出なし)
		
⑭ 昨年度の状況	⑮ 牧草地の状況 (流出なし)	⑮ 昨年度の状況

103 嘉弥真水道 第1回調査(令和元年6月27日実施)

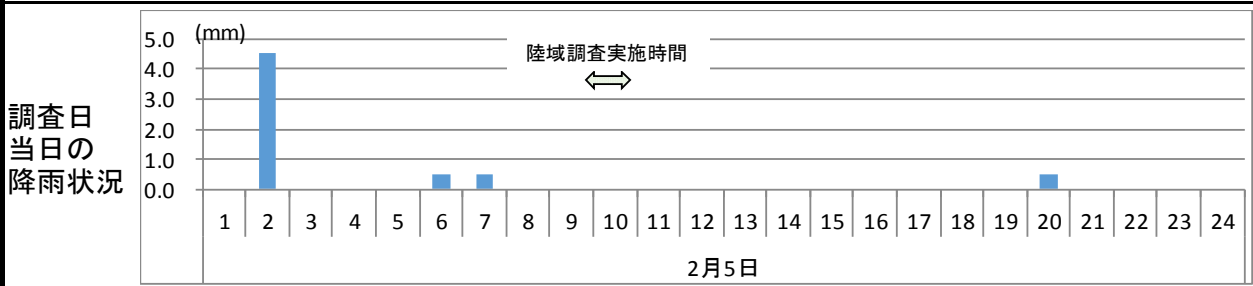
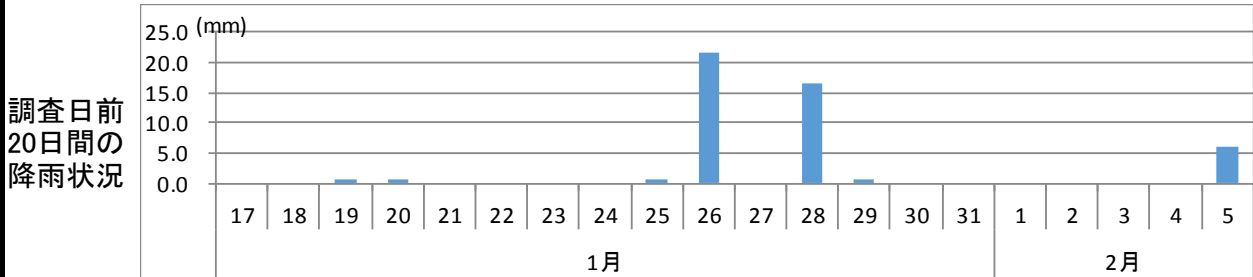
調査日には降雨があったが8mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑩ 草地の状況 (流出なし)	⑩ 草地の状況 (流出なし)	⑩ 昨年度の状況
		
⑩ 昨年度の状況		

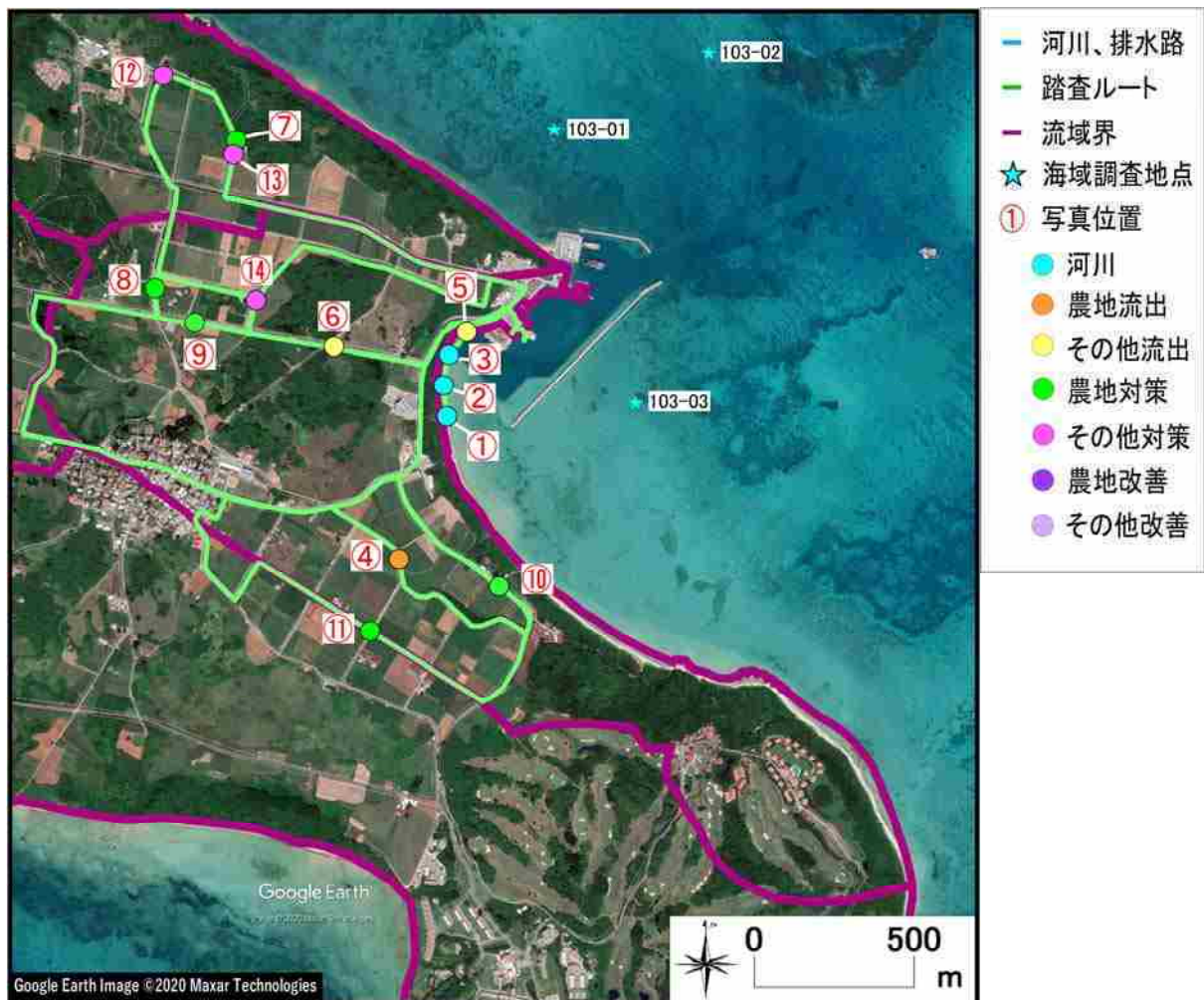
103 嘉弥真水道

第2回調査(令和2年2月5日実施)

降雨状況 大原観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成29年9月10日であるため、本調査日令和2年2月5日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

103 嘉弥真水道 第2回調査(令和2年2月5日実施)

調査日には降雨があったが6mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 南側河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 中央付近河口域において、濁りは確認されなかった。
- ③ 北側河口域において、濁りは確認されなかった。

(2)農地

- ④ 調査区域南側において、サウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑤ 調査区海岸付近において、「小浜港船揚場工事」が確認された。規模は3,369㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。
- ⑥ 調査区中央付近において、「竹富美ら島地区草地造成工事」が確認された。作業中により、規模は不明であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。周辺が草地ということもあり、赤土等の流出は確認されなかった。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑦ 調査区域北西側のサウキビ畑において、草本によるグリーンベルトが確認された。
- ⑧ 調査区域西側のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等流出防止対策が確認された。
- ⑨ 調査区域西側のサウキビ畑において、草本によるグリーンベルトが確認された。
- ⑩ 調査区域南側の農地において、草本によるグリーンベルトが確認された。
- ⑪ 調査区域南側のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等流出防止対策が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑫ 調査区域北西側において、沈砂池が確認されたが、滞水は確認されなかった。
- ⑬ 調査区域北西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
- ⑭ 調査区域中央付近において、農業用水池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ④ 前回と比べ変化はなく、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑤ 前回と比べ、工事が進んでいた。調査中に作業は行われていなかったが、工事は継続中のものであった。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑦ 前回と比べ変化はなく、草本によるグリーンベルトが施されていた。
- ⑨ 前回と比べ、グリーンベルトに変化はなく、道路や水路へ赤土等の流出痕は確認されなかった。

103 嘉弥真水道 第2回調査(令和2年2月5日実施)

調査日には降雨があったが6mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 南側河口域の状況 (濁りなし)	① 南側河口域の状況 (濁りなし)	② 中央付近河口域の状況 (濁りなし)
		
③ 北側河口域の状況 (濁りなし)	④ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	④ 前回の状況
		
⑤ 工事現場の状況	⑤ 工事現場の状況	⑤ 前回の状況
		
⑤ 前回の状況	⑥ 造成工事の状況	⑥ 造成工事の状況
		
⑦ 草本によるグリーンベルトの状況	⑦ 前回の状況	⑧ マルチングによる赤土等の流出防止対策

103 嘉弥真水道 第2回調査(令和2年2月5日実施)

調査日には降雨があったが6mmであったため 平常時 として調査実施

		
⑨ 草本によるグリーンベルトの状況	⑨ サトウキビ畑の状況	⑨ 前回の状況
		
⑨ 前回の状況	⑩ 草本によるグリーンベルトの状況	⑪ マルチングによる赤土等の流出防止対策
		
⑫ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)	⑬ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)	⑭ 農業用水地の状況 (オーバーフローなし)

平成 31 年度(2019 年度) 赤土等流出防止海域モニタリング調査委託業務

報 告 書

概要版

令和 2 年 3 月

発行者 沖縄県 環境部 環境保全課

那覇市泉崎 1-2-2

TEL 098-866-2236

調査編集 株式会社 沖縄環境保全研究所